

目次

1 施設概要

- I 施設
 - 1 施設
 - 2 沿革
 - 3 組織
- II 本庄早稲田の杜ミュージアムがめざすもの

2 事業概要

- I 開館日数・入館者数
 - 1 開館日数
 - 2 入館者数
 - 3 団体見学
- II 展示
 - 1 本庄市展示室
 - 2 早稲田大学展示室
 - 3 企画展
 - 4 ミニ企画展
 - 5 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース
- III 教育普及
 - 1 ワークショップ・イベント
 - 2 講座・講演会
 - 3 ガイドツアー（ギャラリートーク）
- IV 博学連携事業
 - 1 博学連携事業
 - 2 早稲田大学本庄高等学院との連携事業
- V その他の事業
 - 1 来館者数達成記念事業
 - 2 開館4周年記念事業
 - 3 特別開館・臨時休館
 - 4 博物館実習
 - 5 他団体主催イベントへの参加
- VI 資料活用
 - 1 館外特別利用
 - 2 特別利用
- VII 資料収集
 - 1 新収蔵資料
- VIII 情報発信・広報等
 - 1 情報発信・広報
 - 2 刊行物
 - 3 ミュージアムショップ
- IX 本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会
 - 1 運営委員会委員
 - 2 運営委員会

1 施設概要

I 施設

1 施設

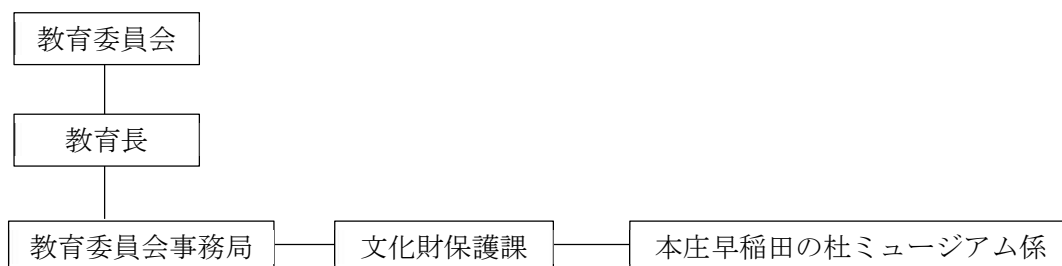
- 1 | 名称 本庄早稲田の杜ミュージアム 英語表記 HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
- 2 | 所在地 埼玉県本庄市西富田 1011 番地
- 3 | 開館年月日 令和 2 (2020) 年 10 月 15 日
- 4 | 施設概要 本庄早稲田の杜ミュージアムは、早稲田大学本庄キャンパス内にある早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター（早稲田大学 93 号館）1 階に開設しました。本庄市と早稲田大学は、当館のある大久保山、浅見山丘陵の恵まれた自然環境と多様な遺跡や文化財に囲まれた一帯を「本庄早稲田文化の杜」とし、地域文化の拠点として位置付けています。当館はその中核施設として、本庄の歴史と文化の魅力を発信するとともに、地域の歴史をグローバルな視点でとらえる展示を行っています。

2 沿革

平成 17 (2005) 年 5 月 11 日	本庄市と早稲田大学は「早稲田大学と本庄市との協働連携に関する基本協定書」を締結
令和元 (2019) 年 7 月 26 日	本庄市と早稲田大学は「本庄早稲田の杜ミュージアムに関する基本契約書」を締結
令和元 (2019) 年 12 月	「本庄早稲田の杜ミュージアム設置及び管理に関する条例」が本庄市議会で可決し、開館日が令和 2 年 5 月 15 日に決定
令和 2 (2020) 年 5 月	本庄市議会において開館延期を決定
令和 2 (2020) 年 9 月	開館日が令和 2 年 10 月 15 日に決定
令和 2 (2020) 年 10 月 15 日	開館
令和 7 (2025) 年 2 月 24 日	来館者 8 万人達成

3 組織

1 | 運営体制



2 | 名誉館長

渡邊 義浩（早稲田大学常任理事・文学学術院教授）

3 | 職員

令和 6 年度

館長 小川 知子

本庄早稲田の杜ミュージアム係 係長 松橋 由希（※）・主査 古澤 千恵子・主事 秋山 寛行（※）・

主事 松浦 誠 (※)・会計年度任用職員 松本 完 (※)・会計年度
任用職員 太田 博之 (※)・会計年度任用職員 笠原 万理子
(※) 学芸員

Ⅱ 本庄早稲田の杜ミュージアムがめざすもの

- 本庄市と早稲田大学が所蔵する考古資料等を活用した展示その他の教育普及活動を通じて、来館者が本庄市の歴史に親しみ、学ぶための拠点とする
 - 周辺の文化財施設や学校、その他関連団体等との連携を図り、地域文化の中核施設としての役割を果たす
- 1 市民共有の財産である考古資料等の調査、研究を行い、展示・教育・出版活動を通じて、市民の誰もが本庄市の長い歴史を身近に感じられる場とする
 - 2 学校教育と連携を図り、学習目的に対応した見学・体験プログラムを提供することで、児童・生徒の歴史学習の拠点となる
 - 3 子どもたちの知的好奇心を喚起し、郷土学習をはじめ、何かを学ぶことや深く知ることの面白さを体感できる環境を創出する
 - 4 実際に見て、触れることができる実物資料を活用した学習環境をつくるほか、多彩な体験学習の機会を設け、体感的な歴史学習を推進する
 - 5 幅広い利用者に対応し、障害のある方や乳幼児連れの家族でも気兼ねなく過ごせる環境づくりを行う
 - 6 前山1号墳や有勝寺裏埴輪窯跡など貴重な遺跡が所在する恵まれた立地環境を生かし、大久保山・浅見山丘陵全体を博物館として活用する
 - 7 生涯学習や文化推進の拠点施設として、資料の公開のみならず、情報発信力の高い施設づくりを行う
 - 8 本庄市と早稲田大学が所蔵する資料を積極的に公開し、研究者や市民の主体的な調査研究をサポートする
 - 9 本庄市と早稲田大学が協働し、先端的な調査、研究を推進するとともに、研究者や研究団体の活動に協力し、その成果を展示、学習の場に生かす

利用案内

名 称 本庄早稲田の杜ミュージアム 英語表記 HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
所 在 地 埼玉県本庄市西富田 1011 番地
開館時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分
休 館 日 月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）
入 館 料 無料
交通案内 新幹線 JR 上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅南口から徒歩 3 分
電 車 JR 高崎線 本庄駅南口からはにほんシャトル（所要時間 13 分）バス停「本庄早稲田駅北口」下車 徒歩 5 分 または 本庄駅南口からタクシー 10 分
自動車 関越自動車道 本庄児玉 I C から 5 分 無料駐車場あり

2 事業概要

I 開館日数・入館者数

1 開館日数

令和2年度	138 日
令和3年度	306 日
令和4年度	306 日
令和5年度	307 日
令和6年度	305 日

2 入館者数

令和2年度	9,771 名
令和3年度	17,402 名
令和4年度	15,141 名
令和5年度	18,695 名
令和6年度	21,184 名
累計	82,193 名

3 団体見学

(令和6年度)

種 別			団体数		人数	
				うち市内		うち市内
学校団体	小学校	3 年生	9 団体	8 団体	578 名	497 名
		4 年生	2 団体	2 団体	117 名	117 名
		6 年生	3 団体	1 団体	223 名	21 名
		全学年	1 団体	1 団体	54 名	54 名
		特別支援学級	3 団体	3 団体	45 名	45 名
	中学校	1 年生	1 団体	0 団体	54 名	0 名
		特別支援学級	4 団体	3 団体	104 名	72 名
	高等学校		1 団体	1 団体	45 名	45 名
	特別支援学校		1 団体	1 団体	8 名	8 名
	大学		1 団体	0 団体	15 名	0 名
保育所・幼稚園等			2 団体	2 団体	97 名	97 名
教育関係団体（学童・研究会等）			20 団体	6 団体	393 名	223 名
生涯学習団体（自治会・任意団体等）			7 団体	0 団体	257 名	0 名
福祉関係団体（介護施設等）			7 団体	0 団体	85 名	0 名
その他			10 団体	5 団体	136 名	47 名
合計			72 団体	33 団体	2, 211 名	1, 226 名

Ⅱ 展示

1 本庄市展示室

(1) 埴輪の世界

1 | 概要

本庄市のマスコット「はにぼん」のモデルとなった前の山古墳出土の盾持人物埴輪や埼玉県指定史跡である宍勝寺裏埴輪窯跡出土の靱形埴輪など大型で造形的にも優れた形象埴輪を中心に、市内出土の形象埴輪を展示の中核に据え、あわせて壺形埴輪や朝鮮半島系の土器製作技法で製作された円筒埴輪など他の地域では見られない資料を展示し、市内出土埴輪の特徴を明示しています。令和6年度は、久下東・久下前遺跡久下前 C3 地点 83 号住居跡出土の土師器（4 世紀後半、ケースNo.14）の展示替えを行いました。また、東京国立博物館（会期 10 月 16 日～12 月 8 日）及び九州国立博物館（会期 1 月 21 日～5 月 11 日）で開催された 挂甲の武人 国宝指定 50 周年記念／九州国立博物館開館 20 周年記念 特別展「はにわ」に盾持人物埴輪（前の山古墳出土）1 点が出展しました。

2 | 展示構成と主な展示資料

埴輪サークル	展示点数 22 点
盾持人物埴輪ほか	展示点数 17 点

(2) 本庄の歩み

1 | 概要

各時代を代表する資料を市所蔵の資料のみならず、早稲田大学所蔵の資料と組み合わせて展示することで、旧石器時代から中・近世までの地域の歴史を、考古資料を通じて解説します。また、年表や映像コンテンツを活用することで、地域の歴史をよりわかりやすく紹介しています。

2 | 展示構成と主な展示資料

旧石器時代	ナイフ形石器ほか	展示点数 34 点
縄文時代	縄文土器ほか	展示点数 95 点
弥生時代	弥生土器ほか	展示点数 14 点
古墳時代	土師器ほか	展示点数 271 点
飛鳥時代	ガラス小玉鋳型ほか	展示点数 14 点
奈良時代	宝亀二年銘木簡ほか	展示点数 21 点
平安時代	石製紡錘車ほか	展示点数 8 点
鎌倉時代	複弁蓮華文軒丸瓦ほか	展示点数 9 点
戦国時代	かわらけほか	展示点数 32 点

本庄の歩み [年表・地図]

本庄の歴史 [映像約 10 分]・考古資料からみる本庄 [映像約 8 分]・本庄早稲田の杜ミュージアムの魅力（名誉館長インタビュー） [映像約 4 分] ※手話版・英語版あり

本庄の歴史 [子ども向け映像約 17 分]・考古学でわかる本庄 [子ども向け映像約 16 分] ※字幕／手話版・英語版あり

関連資料	武蔵国分寺跡出土単弁蓮華文軒丸瓦ほか	展示点数 11 点
	アル・フスタート遺跡出土白磁碗ほか	展示点数 24 点

2 早稲田大学展示室

タイトル	会期	開催日数	来場者数
下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活	令和5年12月12日（火曜日） ～令和6年5月26日（日曜日）	138日 (48日※1)	7,691名 (2,478名※1)
小野義一郎コレクション オリ エントへのまなざし－古代ガラ ス・コプト織・アジア陶磁－	令和6年6月29日（土曜日） ～令和6年9月1日（日曜日）	55日	3,921名
中山道と本陣－本庄宿と太田宿 －	令和6年10月12日（土曜日） ～令和7年1月13日（祝日/月曜日）	75日	6,488名
古代エジプトの棺と埋葬	令和7年1月28日（火曜日） ～令和7年5月25日（日曜日）	54日 ※2	4,086名 ※2

※1 令和6年4月1日～5月26日

※2 令和7年3月31日現在

(1) 下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活

1 | 概要

西東京市の国指定史跡下野谷遺跡は、南関東で最大規模を誇る縄文時代中期の集落で、発掘開始から50年を迎えます。早稲田大学は、下野谷遺跡縄文時代編の報告書の刊行を契機に、その成果と資料を公開するものです。

縄文時代の人々は、海水準の変化を伴う大きな環境変動の中で、狩猟・漁撈・採集により、自然と共生し、持続可能な社会を約1万年以上の長きにわたり営みました。縄文時代の人々と暮らしがどのようなものであったか、「住」をテーマに、早稲田大学公認サークル、アニメーション研究会と絵画会の協力を得て、縄文人の生活を分かりやすく紹介しました。

2 | 会期

令和5年12月12日（火曜日）～令和6年5月26日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月3日）

3 | 展示構成と主な展示資料

下野谷遺跡の概要 東集落の概要／双環状集落・拠点集落の特徴

春の縄文集落と人々と生活 竪穴住居の作り方／竪穴住居の役割と効果／竪穴住居と縄文土器の廃棄

主な展示資料 W-91号住居跡出土土器、W-31号住居跡出土土器

夏の縄文集落と人々と生活 漁労具（浮子・石錘）／狩猟具（石鏃）／石材（黒曜石）／工具としての石器（石錐・石匙・磨製石斧）／植物採集と土堀具（打製石斧）

主な展示資料 浮子、石錘、石錐、石匙、磨製石斧、打製石斧

秋の縄文集落と人々と生活 植物種子の発見／小型土器／植物採取の調理具（石皿・磨石・敲石）／祭祀に用いられた石製品（石棒）

主な展示物 小型土器、石皿、磨石、敲石、石棒

冬の縄文集落と人々と生活 縄文人の墓（土坑と埋甕、伏鉢）

主な展示物 補修孔を有する土器、底部に網代痕を有する土器片

展示点数 368 点

4 | 関連事業 ※肩書は開催時点

①講演会 企画展会期中に講演会を開催しました。

※1 第1回 演題 「下野谷遺跡と縄文ムラの姿」

講師 細田 勝 氏（元早稲田大学考古資料館学芸員）

第2回 演題 「縄文土器を製作する人々の心性」

講師 高橋 龍三郎 氏（早稲田大学名誉教授）

②イベント 小学生を対象としたイベントを開催しました。

※1 イベント名「縄文時代を描こう〜ドキドキ楽しいお絵描き」

講師 早稲田大学公認サークル アニメーション研究会、絵画会

③ギャラリートーク 第2回講演会開始前に、企画展担当者でもある井上裕一氏（早稲田大学考古資料館学芸員）による展示解説を実施しました。

※1 は令和5年度事業

5 | 共催 西東京市教育委員会

6 | 協力 早稲田大学公認サークル アニメーション研究会、絵画会

7 | 会期中のミュージアム入館者数 7,691 名

（参考）令和6年4月1日～5月26日の入館者数 2,478 名

(2) 小野義一郎コレクション オリентへのまなざしー古代ガラス・コプト織・アジア陶磁ー

1 | 概要

オリентと呼ばれる西アジア地域は、古代にメソポタミア文明やエジプト文明が生まれ、その後もシルクロードの中継地として長く東西を結ぶ要地であり続けました。

実業家・小野義一郎氏(1918～2007)は中国大陸の先に広がるオリентに憧憬し、300 点を超える工芸資料を収集しました。企画展では、早稲田大学會津八一記念博物館に寄贈された小野義一郎コレクションの中から西アジアの古代ガラスやイスラーム陶器、エジプトのコプト織、東南アジアの陶磁など約 80 点を一挙公開し、小野氏が思いを馳せたオリентの魅力を紹介しました。

2 | 会期

令和6年6月29日（土曜日）～9月1日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 展示構成と主な展示資料

第1章 古代ガラスとイスラーム陶器

双把手付長頸瓶、双把手付長頸瓶、ミルフィオリ・パテラ形杯、マーブル装飾長胴瓶、型吹双面瓶、型吹果実文瓶、型吹幾何学文双把手瓶、宙吹リブ装飾文碗、把手付瓶、面カット装飾浅鉢、円形切子装飾碗、切子装飾長頸瓶、型吹長頸瓶、マーブル装飾扁壺、搔落彩文杯、幾何学彩文浅鉢、緑釉把手付壺、ラスター彩兎文把手付壺、ラスター彩人物文鉢、藍釉色絵金彩花文皿、色絵金彩把手付壺、藍釉浮出アラベスク文菊花鉢、藍釉ラスター彩鉢、藍釉鉢、白土盛上動物文深鉢、色絵金彩鉢

第2章 コプト織

踊る女性たち、馬に乗る男性、4人の天使（エロス）、2人の踊る少年、4人の聖人、踊る人物とライオン、帯状装飾とメダリオン、天使と鳥、魚とイヌ、ドラゴンと植物文

様、ライオンと樹木、ライオンと水鳥、植物と人物、鳥と魚、鳥とライオン、ウサギ、人物と植物と動物、幾何学文、壺と草花のメダリオン、チュニック、蕾、帽子

第3章 東南アジア陶磁

黒褐釉象形壺、黒褐釉鳥形壺、黒褐釉線文壺、黒褐釉刻線小壺、黒褐釉小壺、黒褐釉合子、黒褐釉笛、施釉刻線蓋付高坏、灰釉筒型合子、青磁唐草唐子文碗、鉄絵草花文碗、青花唐草文碗、青花神獸文瓶、白釉緑彩鳥文稜花盤、青磁刻線文双耳小壺、青磁花文盤、白磁鳥形水注、白・黒象嵌瓶、鉄絵幾何学文合子、鉄絵唐草文小壺

展示点数 80 点

4 | 関連事業 ※肩書は開催時点

①ギャラリートーク オープニングイベントとして「小野隆彦先生と学芸員のギャラリートーク」を開催しました。

講師 小野 隆彦 氏（元東京農工大学副学長、元早稲田大学客員教授）

②ワークショップ・イベント 企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。
・挑戦！オリエントのやきもの
・謎解きイベント「オリエントの世界からの脱出」

③内覧会 6月28日（金曜日）に報道及び関係者向けに内覧会を開催しました。

5 | 会期中のミュージアム入館者数 3,921 名

（3）中山道と本陣－本庄宿と太田宿－

1 | 概要

江戸時代に日本橋から京都までをつないだ中山道。中山道には草津・大津を含めて69の宿駅があり、現在の本庄市には10番目の宿である本庄宿がありました。宿駅は街道の要所に設けられ、休憩・宿泊のための施設、荷物や手紙の運送に関わる施設が置かれていました。宿駅に置かれた宿泊施設のなかでも、諸大名や公家、幕府の役人といった身分の高い人々が宿泊するための施設は、本陣や脇本陣と呼ばれ、宿駅のなかでも最も重要な施設でした。

本庄宿には田村本陣と内田本陣という2つの本陣が置かれていました。田村家には大名等の休憩や宿泊の記録をまとめた「休泊控帳」が現存し、寛永19（1642）年から文久3（1863）年までの221年間の記録が残されています。「休泊控帳」には休泊日・大名の名前・人数・献上品・下賜金・食事内容など多岐にわたる内容が記され、本陣当主の職務にあたる姿をみることができます。今回の企画展は、早稲田大学が文化交流協定を結んでいる岐阜県美濃加茂市にある美濃加茂市民ミュージアムとの共催展として開催しました。美濃加茂市には中山道51番目の宿である太田宿があり、2020年度には太田宿本陣の資料が美濃加茂市民ミュージアムの収蔵品に加わりました。企画展では、本陣の機能や大名家とのやりとりについて市所蔵・市寄託資料を中心に展示するとともに、早稲田大学所蔵の街道関係資料、美濃加茂市民ミュージアム所蔵の太田宿本陣資料を併せて展示することで、多くの大名が通行した中山道とそれを迎えた本陣の姿を紹介しました。

2 | 会期

令和6年10月12日（土曜日）～令和7年1月13日（祝日/月曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始（12月28日～1月3日）

3 | 展示構成と主な展示資料

第1章 中山道

- ◆描かれた中山道 大日本道中細見絵図、木曾路名所図会<巻一 坤 高宮駅 多賀大鳥居、巻三 贅川より本山までの間、巻四 諏訪温泉、巻一 坤 醒井>、新井白石肖像（パネル展示のみ）
- ◆街道の整備 北条氏伝馬手形、徳川家康直書・村越直吉添え状、武家諸法度、木曾街道六十九駅<本庄、太田（パネル展示のみ）>、古今東京名所 日本橋

第2章 太田宿

- ◆太田宿と本陣福田家 丸に四つ目菱紋蒔絵陣笠、福田太郎八肖像画（パネル展示のみ）、宗和膳、大本字入飯椀、大本字入汁椀、太本字入平椀、坪椀、手塩皿、皿、什物簿（パネル展示のみ）、葡萄文蒔絵椀、波に千鳥文沈金手塩皿
- ◆太田宿を通った人々 色絵牡丹文大皿、三十二間筋兜 伝武田耕雲斎所用、武田耕雲斎肖像（「水藩名士肖像図巻」、パネル展示のみ）、三葉葵紋蒔絵硯箱

第3章 本庄宿

- ◆本庄宿と町並み 北条家伝馬手形、武蔵国本庄町畑方御検地水帳、武蔵国児玉郡本庄宿惣高書上帳、中山道絵図本庄宿
- ◆本陣田村家と「休泊控帳」 田村左惣治写真（『本庄町誌』口絵、パネル展示のみ）、松大鷹図、休泊控帳<左惣治の襲名、最古の「休泊控帳」>、本庄宿字切絵図 本町
- ◆大名の本陣利用 休泊控帳<宿泊先を田村本陣から内田本陣へ依頼、九九年前の「由緒書」、松代藩真田家の宿泊、尾張藩徳川家 寺院へ分宿、上田藩松平家の昼休、食事にうなぎも出ています、加賀藩前田家の食事、加賀藩前田家 宿泊準備の詳細>、須坂藩堀家の休泊由緒、与板藩井伊家家臣より田村本陣への覚、印鑑用紙と書状、関札、加賀藩大名行列屏風（パネル展示のみ）
- ◆コラム 高札、諸井六郎写真（『諸井六郎君追悼遺芳録』口絵、パネル展示のみ）、稿本 徳川時代之武蔵本庄（パネル展示のみ）
- ◆本庄と小笠原家 小笠原忠貴建立祈願文、小笠原忠貴筆金鑽明神額、小笠原信嶺夫妻の墓（パネル展示のみ）、小笠原信之の墓（パネル展示のみ）、休泊控帳<小笠原家 開善寺へ参詣、小笠原家 開善寺参詣への案内>、開善寺境内絵図（パネル展示のみ）
- ◆皇女和宮と本庄 和宮様御参幸御行列諸御役人附（パネル展示）、休泊控帳<和宮宿泊の記事（パネル展示のみ）>、観行院下賜品目録、緋縮緬（和宮生母観行院拝領品）、煙草入れ（和宮生母観行院拝領品）、扇子（和宮生母観行院拝領品）、木盃（和宮生母観行院拝領品）、かわらけ（和宮生母観行院拝領品）、京人形（和宮生母観行院拝領品）、和宮御下向御実母観行院御賄方諸用控、賄料包紙、菓子銘札、随侍御家老墨画（パネル展示）

展示点数 71 点（パネル展示を含む）

4 | 関連事業 ※肩書は開催時点

①講演会 企画展会期中に講演会（全 3 回）を開催しました。

第 1 回 演題『『休泊控帳』から見た田村本陣』

講師 秋山 寛行（当館学芸員）

第 2 回 演題「幕府の交通政策と中山道」

講師 杉山 正司 氏（元埼玉県立文書館館長）

第 3 回 演題「江戸後期の風俗と中山道の宿場町」

講師 児玉 憲治 氏（早稲田大学非常勤講師）

②ギャラリートーク 企画展担当者でもある秋山寛行（当館学芸員）、藤島夢花氏（美濃加茂市民ミュージアム学芸員）による展示解説を 2 日間（各日 2 回）実施しました。

③関連展示 次のとおり関連展示を行いました。

・「中山道と本陣ー『休泊控帳』をひもとくー」

会期 令和 6 年 10 月 12 日（土曜日）～令和 7 年 1 月 13 日（祝日/月曜日）

会場 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

・パネル展「中山道と本陣ー本庄宿と太田宿ー」

会期 令和 6 年 12 月 9 日（月曜日）～12 月 20 日（金曜日）

会場 早稲田大学 27 号館（小野記念講堂）地下 1 階ワセダギャラリー

④ワークショップ・イベント 企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。

・重ね捺しスタンプラリー

・中山道本庄宿を歩こう

・ミニ巻物をつくろう

⑤内覧会 10 月 11 日（金曜日）に報道及び関係者向けに内覧会を開催しました。

5 | 共催 美濃加茂市民ミュージアム、早稲田大学文化推進部文化企画課

6 | 会期中のミュージアム入館者数 6,488 名

7 | 来館者アンケートの結果（回答数 330）

どこからお越しですか 市内 19% 市外 81%

あなたの年代を教えてください 10 代 3% 20・30 代 11% 40・50 代 38% 60 代以上 48%

今回の企画展をどこで知りましたか 広報 12% 市 HP6% SNS4% 館内掲示・チラシ 20%
ミュージアム HP14% 口コミ 21% その他 22% 回答なし 1%

企画展の満足度を教えてください 大変満足 39% 満足 53% 普通 6% やや不満 0% 不満 0% 回答なし 1%

企画展の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 38% わかりやすかった 59% どちらともいえない 2% わかりにくかった 0% 非常にわかりにくかった 0% 回答なし 1%

今回のような企画展があったらまた来館したいですか ぜひ来館したい 57% 都合があれば来館したい 39% 来館したくない 1% 回答なし 3%

ミュージアムへの来館回数 初めて 59% 2 回目 16% 3 回以上 22% 回答なし 3%
 市と大学の連携事業として希望するもの 講演会・講座 19% ワークショップ 13% 企画展・
 特別展 56% その他 1% 希望しない 2% 回答な
 し 9% ※複数回答あり

(4) 古代エジプトの棺と埋葬

1 | 概要

エジプト文明の特徴は、埋葬にあります。かの有名なツタンカーメンの墓では、ミイラが四重の棺に入れられ、数多くの副葬品とともに埋葬されました。こうした華やかな埋葬は、ファラオの権威を誇示するためだけではありません。そこには、古代エジプトの死生観が反映されているのです。

吉村作治氏を中心に結成された早稲田大学エジプト調査隊は、1971（昭和 46）年、最初の調査権をエジプト政府から取得し、マルカタ南遺跡の発掘を開始しました。そこでは、新王国時代のファラオ・アメンヘテプ 3 世の儀礼用彩色階段が発見されましたが、その周囲から、後の時代の棺も多くみつけられました。またその後、ダハシュール北遺跡では、未盗掘墓がみつけられ、彩色木棺や青いミイラマスクなどの大発見がありました。

本展覧会では、これら貴重な資料を用いて、古代エジプトの棺と埋葬そして死生観について紹介しました。

2 | 会期

令和 7 年 1 月 28 日（火曜日）～5 月 25 日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 展示構成と主な展示資料

第 1 章 陶棺の世界 マルカタ南遺跡／魚の丘彩色階段／棺とは／陶棺とは／魚の丘周辺でみつかった陶棺／陶棺の発見／アンフォラ

主な展示資料 陶棺、アンフォラ

第 2 章 死生観と埋葬の世界 死生観／2 つの魂 バーとカー／墓とは／副葬品／オシリス信仰／ミイラ／ミイラ布とは／ローマ支配期の男性ミイラ布／ローマ支配期の女性ミイラ布／ミイラ布に描かれた神々

主な展示資料 化粧用パレット、ビーズ製装身具、青銅製腕輪、シャブティ、ミイラ布

第 3 章 ダハシュールの世界 ダハシュール北遺跡／発掘現場写真

主な展示資料 セヌウの木棺（レプリカ）、セヌウのマスク（レプリカ）、子供の木棺（レプリカ）

展示点数 95 点

4 | 後援 一般社団法人日本エジプト考古学研究所、東日本国際大学エジプト考古学研究所、株式会社アケト

5 | 会期中のミュージアム入館者数 4,086 名（令和 7 年 1 月 28 日～3 月 31 日）

3 企画展

タイトル	会期	開催日数	来場者数
埴輪一本庄とその周辺地域における 埴輪の導入から終焉までー	令和6年10月12日（土曜日） ～令和6年12月22日（日曜日）	62日	3,581名※
第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会 「古代の児玉・深谷地域」	令和7年1月18日（土曜日） ～令和7年3月23日（日曜日）	56日	3,397名※

※展示室内に入場した実数

(1) 埴輪一本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉までー

1 | 概要

本庄市とその周辺地域は、埼玉県内で最も早く埴輪を導入した地域として知られていますが、その後も埴輪をもつ古墳が数多く築かれ、また埴輪窯跡も数か所に所在するなど埴輪づくりがとて盛んな土地でした。

今回の展示では、本庄市や周辺地域で出土した埴輪のなかから、とくに注目すべき資料を体系的に集成し、当地域での埴輪の出現から終焉までの姿を紹介しました。

2 | 会期

令和6年10月12日（土曜日）～12月22日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階 情報資料室

4 | 展示構成と主な展示資料

1 底部穿孔壺形土器と壺形埴輪

壺形埴輪（塚越稲荷塚古墳出土／寄居町教育委員会蔵）、壺形埴輪片（川輪聖天塚古墳出土／埼玉県教育委員会蔵）、壺形埴輪（中道1号墳出土／美里町教育委員会蔵）

2 埴輪の出現

円筒埴輪片・家形埴輪・柵形埴輪片・盾形埴輪片（公卿塚古墳出土）、円筒埴輪・朝顔形埴輪片（金鑽神社古墳出土）、円筒埴輪片（生野山将軍塚古墳出土）、円筒埴輪（長沖15号墳出土）、円筒埴輪片（長沖34号墳出土）、朝顔形埴輪片（伝本庄市西富田二本松出土）

3 畿内系埴輪の導入

円筒埴輪片・朝顔形埴輪片・家形埴輪片・短甲形埴輪片（志渡川古墳出土／美里町教育委員会蔵）、円筒埴輪片（長沖157号墳出土）

4 窖窯焼成技法と人物・馬形埴輪の出現

円筒埴輪（上前原5号墳出土）、円筒埴輪・家形埴輪片・人物埴輪片・盾持埴輪片・盾形埴輪片・馬形埴輪片（生野山9号墳出土／埼玉県教育委員会蔵）、家形埴輪片・馬形埴輪片（小島本伝遺跡出土）、縦裁断円筒埴輪片（長沖14号墳出土）

5 群集墳の展開と埴輪生産の拡大

円筒埴輪（四方田古墳出土）、円筒埴輪（西五十子6号墳出土）、馬形埴輪（長沖十兵衛塚古墳出土）、翳形埴輪（長沖192号墳出土）、靱形埴輪（諏訪道満古墳出土）、靱形埴輪（宍勝寺裏埴輪窯跡出土）

6 埴輪終焉期の様相

円筒埴輪（前の山古墳出土）、馬形埴輪〔脚部〕（山の神古墳出土）、馬形埴輪片（小島御手

長山古墳出土)、器種不明形象埴輪片(小島御手長山古墳出土)

7 埴輪製作遺跡

円筒埴輪・家形埴輪片・馬形埴輪片・鳥形埴輪片(宇佐久保埴輪窯跡出土/美里町教育委員会蔵)、器財埴輪片・人物埴輪片・馬形埴輪片(宍勝寺裏埴輪窯跡出土)、家形埴輪片(赤坂埴輪窯跡出土)

展示点数 197 点

6 | 関連事業 ※肩書は開催時点

①講演会・講座 企画展会期中に講演会と講座(全2回)を開催しました。

講演会 演題「本庄・児玉地域における埴輪の導入と展開」

講師 日高 慎 氏(東京学芸大学教育学部教授)

講座 演題「盾持人物埴輪の意義」

講師 青笹 基史 氏(埼玉県立さきたま史跡の博物館)

講座 演題「東日本における馬形埴輪の出現と展開」

講師 齋藤 直樹 氏(藤岡市教育委員会文化財保護課)

②ワークショップ 企画展会期中に次のワークショップを開催しました。

・めざせはにわ職人!ミニ埴輪をつくろう

③内覧会 10月11日(金曜日)に報道及び関係者向けに内覧会を開催しました。

7 | 会期中のミュージアム入館者数 5,953名(うち展示会場入場者3,581名)

8 | 来館者アンケートの結果(回答数436)

どこからお越しですか 市内19% 市外81%

あなたの年代を教えてください 10歳未満0% 10代9% 20・30代12% 40・50代37% 60代以上42% 回答なし1%

今回の企画展をどこで知りましたか 広報11% 市HP6% SNS25% 館内掲示・チラシ25% ミュージアムHP14% 口コミ15% その他22% 回答なし1% ※複数回答あり

企画展の満足度を教えてください 大変満足41% 満足53% 普通6% やや不満0% 不満0%

企画展の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった33% わかりやすかった60% どちらともいえない6% わかりにくかった1% 非常にわかりにくかった0%

今回のような企画展があったらまた来館したいですか ぜひ来館したい61% 都合があれば来館したい39% 来館したくない0% 回答なし1%

ミュージアムへの来館回数 初めて56% 2回目14% 3回以上29% 回答なし1%

(2) 第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」

1 | 概要

飛鳥時代後半(7世紀後半)から奈良時代(8世紀)にかけて、律令制の定着とともに児玉・深谷地域でも地方行政組織の整備が進み、幡羅官衙遺跡群(深谷市)や中宿・岡・熊野遺跡(深谷市)からなる榛沢郡家、製鉄関連の炭窯が検出された皂樹原遺跡(神川町)、地域の有力者によ

り造営された私寺と考えられる五明廃寺（上里町）、大仏廃寺（美里町）、大久保山遺跡ⅢA・ⅢC地区（本庄市）など、古墳時代までとは大きく性格の異なる遺跡が各地に出現します。
この展覧会では、これらの遺跡を紹介するとともに、代表的な出土遺物を展示しました。

2 | 主催

本庄市・美里町・神川町・上里町・深谷市・早稲田大学

3 | 会期

令和7年1月18日（土曜日）～3月23日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階 情報資料室

5 | 展示構成と主な展示資料

本庄市 寺山廃寺、天神林Ⅱ遺跡 出土資料

美里町 大仏廃寺、木部原遺跡、宮ヶ谷戸遺跡、烏森遺跡、北谷戸遺跡 出土資料

神川町 皂樹原遺跡、精進場遺跡、南塚原39号墳、伝・城戸野廃寺 出土資料

上里町 往来北遺跡、檜下遺跡、五明廃寺、田通遺跡、寺西遺跡、油免遺跡、高野谷戸遺跡、北稲塚第Ⅱ地点遺跡 出土資料

深谷市 台耕地遺跡、西浦北遺跡、中宿遺跡、熊野遺跡、白山遺跡、岡廃寺、塚東遺跡、幡羅遺跡、下郷遺跡 出土資料

早稲田大学 浅見山Ⅰ遺跡、大久保山遺跡 出土資料

展示点数 279点

6 | 関連事業 ※肩書は開催時点

①講演会 企画展会期中に講演会（全3回）を開催しました。

第1回 演題「神川町皂樹原遺跡－炭窯・鍛冶・寺院－」

講師 金子 彰男 氏（神川町教育委員会生涯学習課）

第2回 演題「上里町内における古代遺跡の変遷－律令期を中心に－」

講師 林 道義 氏（上里町教育委員会生涯学習課）

第3回 演題「律令期の深谷周辺」

講師 知久 裕昭 氏（深谷市教育委員会文化振興課）

②ギャラリートーク 講演会終了後及び企画展会期中に講演会講師、企画展担当者による展示解説を全13回開催しました。

③ワークショップ・イベント 企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。

・古代人のモノづくりに迫る！ミニ土器をつくろう

・チェキ撮影会

・幡羅遺跡マスコットキャラクター「ハラ君」

折り紙・ペーパークラフト体験

オリジナル缶バッジづくり

・幡羅遺跡マスコットキャラクター「ハラ君」ぬりえプレゼント

7 | 会期中のミュージアム入館者数 4,918名（うち展示会場入場者3,397名）

8 | 来館者アンケートの結果（回答数296）

どこからお越しですか 本庄市 24% 美里町 1% 神川町 2% 上里町 6% 深谷市 13% そ

の他 55%

あなたの年代を教えてください 10代 1% 20・30代 7% 40・50代 30% 60代以上 61% 回答なし 1%

今回の企画展をどこで知りましたか 広報 14% 市 HP 7% SNS 6% 館内掲示・チラシ 21% ミュージアム HP 23% 口コミ 9% その他 18% 回答なし 1% ※複数回答あり

企画展の満足度を教えてください 大変満足 29% 満足 61% 普通 10% やや不満 0% 不満 0%

企画展の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 25% わかりやすかった 66% どちらともいえない 8% わかりにくかった 1% 非常にわかりにくかった 0%

今回のような企画展があったらまた来館したいですか ぜひ来館したい 56% 都合があれば来館したい 42% 来館したくない 0% 回答なし 2%

ミュージアムへの来館回数 初めて 36% 2回目 15% 3回以上 48% 回答なし 1%

4 ミニ企画展

タイトル	会期	開催日数	来場者数
本庄市民俗芸能上演会関連特別展示「地域の宝 民俗芸能の用具展」	令和6年5月14日（火曜日） ～令和6年5月18日（土曜日）	5日	407名
これでキミも学芸員！	令和6年7月19日（金曜日） ～令和6年8月25日（日曜日）	32日	2,472名
雉岡城発掘速報パネル展	令和7年2月4日（火曜日） ～令和7年4月13日（日曜日）	48日※	3,077名※

※ 令和7年3月31日現在

（1）本庄市民俗芸能上演会関連特別展示「地域の宝 民俗芸能の用具展」

1 | 概要

民俗芸能の保存団体が歴史と伝統を絶やさぬよう大切に受け継いできた「技術」と「用具」。本庄市民俗芸能上演会に出演する「金鑽神楽宮崎組」と「吉田林の獅子舞」の用具を特別に展示し、普段は目にすることができない大切に受け継がれた用具の数々を紹介しました。

2 | 会期

令和6年5月14日（火曜日）～5月18日（土曜日）

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階 情報資料室

4 | 展示構成と主な展示資料

金鑽神楽宮崎組 神楽面、軍配、提灯、祭礼等写真パネル

吉田林の獅子舞 獅子頭、祭礼等写真パネル

展示点数 34点

6 | 関連事業

本庄市民俗芸能上演会

7 | 会期中のミュージアム入館者数 407 名

(2) これでキミも学芸員！

1 | 概要

これまで当館では、本市の歴史をひもとくにあたって重要な発掘調査や考古学について親しみをもってもらうため、令和3年度は「発掘調査」、令和4年度は「土器」、令和5年度は「痕跡」をテーマにミニ企画展を開催し、考古学や発掘調査について分かりやすく解説する展示を行ってきました。令和5年度より旧本庄商業銀行煉瓦倉庫で開催している中山道に関連した企画展をはじめ、歴史学や民俗学の展示を行う機会が増えています。今回は「学芸員の仕事」をテーマに、考古学に限らない調査研究及び展示の様子をわかりやすく解説することで、普段は目にする機会のない博物館の取り組みに対する関心を高めるとともに、市民の文化財保護への理解を推進する機会としました。また、夏休みの期間であることから、展示は小学生をターゲットとした子ども向けとし、来館のきっかけづくりとするほか、郷土学習や歴史学習への関心を喚起するとともに郷土愛醸成の一助となるよう子ども向けの展示としました。

2 | 会期

令和6年7月19日（金曜日）～8月25日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）・7月21日（日）

3 | 会場

交流ひろば

4 | 展示構成と主な展示資料

I どんな場所で働いているの？

II 学芸員になる方法

III 学芸員のお仕事

IV 学芸員のお仕事1 収集

学芸員のお仕事2 調査研究 主な展示資料（資料調査で使う道具）折尺・巻き尺・コンベックス・真弧・ルーペ・鉛筆

学芸員のお仕事3 展示 主な展示資料（展示例）汽車土瓶3点

5 | 関連事業

ワークショップ・イベント ミニ企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。

・「土器・どき\時々、はにわ／ワークショップ」（全6プログラム）

6 | 会期中のミュージアム入館者数 2,472 名

(3) 雉岡城発掘速報パネル展

1 | 概要

本庄市児玉町八幡山に位置する雉岡城跡。

かつて戦国時代初期に関東菅領山内上杉氏により築られました。今でも城内に大規模な土塁や

堀が残されている埼玉県指定文化財です。現在は、「城山公園（しろやまこうえん）」と呼ばれ、市民の大切な憩いの場として親しまれています。

当時の城の様子は記録が少なく、その歴史はまだ解明されていない点も多くある雉岡城ですが、令和6年12月より、本庄市初となる本格的な発掘調査がスタートしました。今回の調査に関連して、速報パネル展と発掘現場見学会（現地説明会）を開催し、発掘調査によって新たに得られた知見をいち早く紹介しました。

2 | 会期

令和7年2月4日（土曜日）～4月13日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 会場

交流ひろば

4 | 展示構成と主な展示資料

かわらけ（出土遺物） パネル展示（発掘風景、出土状況）

展示点数 77 点

5 | 関連事業 ※肩書は開催時点

発掘現場見学会 企画展会期中に発掘現場見学会（全6回）を開催しました。

2月19日（水曜日）午前10時～、午前11時～、午後1時30分～、午後2時30分～

2月22日（土曜日）午後1時30分～、午後2時30分～

解説 文化財保護課職員（発掘担当調査員）

6 | 会期中のミュージアム入館者数 3,077 名

5 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

タイトル	会期	開催日数	来場者数
幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～	令和6年1月19日（金曜日） ～令和6年4月30日（火曜日）	103 日 (30 日※1)	3,101 名 (1,129 名※1)
縁～渋沢栄一と本庄の人々～	令和6年5月18日（土曜日） ～令和6年9月2日（月曜日）	108 日	4,497 名
中山道と本陣－『休泊控帳』をひもとく－	令和6年10月12日（土曜日） ～令和7年1月13日（祝日/月曜日）	88 日	6,510 名
近代日本を紡いだ蚕業教育－木村九蔵と競進社－	令和7年1月18日（土曜日） ～令和7年4月28日（月曜日）	73 日※2	3,745 名※2

※1 令和6年4月1日～4月30日 ※2 令和7年3月31日現在

（1）幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～

1 | 概要

江戸時代も終わり頃になると、本庄宿や周辺の村々にも幕末の動乱がやってきます。特に文久元（1861）年の皇女和宮の降嫁は、本庄宿にとっても最大の出来事でした。和宮一行が中山道を通り江戸へ向かう折、本庄宿は現在の埼玉県地域で最初の宿泊地となり、和宮を迎えました。その

際、本庄宿では宿泊の準備が入念に行われました。今回の企画展では、本市所蔵の資料から幕末の本庄宿の様子や和宮降嫁への宿場の対応に焦点をあて紹介しました。

2 | 会期

令和6年1月19日（金曜日）～4月30日（火曜日）

※当初は3月25日（月曜日）までの予定だったが会期延長

休館日 会期中無休

3 | 会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4 | 展示構成と主な展示資料

①中山道本庄宿と田村本陣

主な展示資料 松大鷹図（パネル）、中山道分間延絵図〔部分〕（パネル）

②姫君の通行と本庄宿

主な展示資料 田村本陣休泊控帳（五十宮の通行〔寛延2年3月〕・有君の通行〔天保2年9月〕）

③和宮の降嫁と本庄宿

主な展示資料 福田家文書（児玉に伝わった桜田門外の変）、和宮様下向御用留（立退場絵図）、御本陣御取立建物出来形帳、和宮様御下向御通輿中入用払帳、田村本陣休泊控帳（和宮の通行〔文久元年11月〕）、金井家文書（和宮下向における助郷免除願い）

展示点数 12点（写真パネル4点含む）

5 | 関連事業 ※すべて令和5年度事業

①講演会 企画展会期中に講演会を開催しました。

演題 「皇女和宮を迎えた本庄宿田村本陣」

講師 秋山 寛行（当館学芸員）

②ガイドツアー 企画展担当者による展示解説を開催しました。

③ワークショップ 企画展会期中にワークショップ「紋切り遊び体験」を開催しました。

6 | 会期中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫入場者数 3,101名（令和6年1月19日～4月30日）

（参考）令和6年4月1日～4月30日の入場者数 1,129名

（2）縁～渋沢栄一と本庄の人々～

1 | 概要

令和6年7月3日に新発行された一万円札の肖像であり、埼玉県の大偉人である渋沢栄一は、現在の深谷市に生まれ、日本の経済の発展と福祉増進のために尽力した人物です。そんな渋沢栄一と本庄の人々の間には深い「縁」があったことはあまり知られていないのではないのでしょうか。

今回の企画展では、渋沢栄一と近代の本庄の人々のつながりについて、市所蔵の資料を交えながら紹介しました。

2 | 会期

令和6年5月18日（土曜日）～9月2日（月曜日）

休館日 会期中無休

3 | 会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4 | 展示構成と主な展示資料

① 渋沢栄一の生涯

主な展示資料 渋沢栄一胸像、『論語』

② 渋沢栄一と本庄の縁～諸井家との関係

主な展示資料 『むら千鳥』(昭和 28 年)、『諸井六郎君追悼遺芳録』(昭和 16 年)

③ 渋沢栄一と塙保己一

主な展示資料 昭和 2 年温故学会開館記念写真 (パネル)、温故学会外観 (パネル)

展示点数 28 点 (写真パネル 19 点含む)

5 | 関連事業

ガイドツアー 企画展担当者による展示解説を開催しました。

6 | 会期中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫入場者数 4,497 名

(3) 中山道と本陣ー『休泊控帳』をひもとくー

1 | 概要

本庄宿田村本陣の「休泊控帳」は、寛永 19 (1642) 年～文久 3 (1863) 年まで 221 年間にわたる休泊記録です。そこには宿泊した数多くの大名たちを迎えた本陣の準備や対応などの様子が書き記され、江戸時代の姿を身近に感じることができます。

企画展では田村本陣が残した「休泊控帳」の記事から本陣の業務や大名へのおもてなしを、具体的なエピソードを交えながら紹介しました。

2 | 会期

令和 6 年 10 月 12 日 (土曜日) ～令和 7 年 1 月 13 日 (祝日/月曜日)

休館日 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

3 | 会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4 | 展示構成と主な展示資料

① 中山道本庄宿と田村本陣

主な展示資料 『中山道道中記』、『東海木曾両道中懷宝図鑑』

② 「休泊控帳」からみる大名の記録

主な展示資料 田村本陣休泊控帳 (真田信之昼休の記録 [明暦 2 年 8 月]・徳川斉朝の宿泊 [文政 8 年 3 月 (パネル)])

③ 本陣のおもてなし

主な展示資料 田村本陣休泊控帳 (前田利以の昼休 [文化 4 年 5 月]・献上品の目録の書き方 [文政 12 年 3 月 (パネル)])

④ 本陣でのさまざまな出来事

主な展示資料 田村本陣休泊控帳 (加賀前田家に出された卵料理・焼鮎 [明和 2 年 8 月]・食事・道具類のリスト [文久元年 4 月])

展示点数 22 点 (写真パネル 13 点含む)

5 | 関連事業

①ガイドツアー 企画展担当者による展示解説を開催しました。

②ワークショップ・イベント 企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。

- ・重ね捺しスタンプラリー
- ・中山道本庄宿を歩こう
- ・ミニ巻物をつくろう

6 | 会期中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫入場者数 6,510 名

(4) 近代日本を紡いだ蚕業教育－木村九蔵と競進社－

1 | 概要

木村九蔵（1845-1898）は、幕末から明治時代にかけて活躍した養蚕家です。養蚕法「一派温暖育」の確立や養蚕結社「競進社」の結成、蚕の新品種「白玉新撰」の改良など数々の功績を残し、日本の養蚕業の近代化の為に生涯をささげました。そして、九蔵と競進社社員による養蚕法の伝習と科学的養蚕法の教育は、近代日本の養蚕業の礎となったと言っても過言ではありません。本企画展では、木村九蔵の養蚕伝習と基盤となった競進社の蚕業教育を、埼玉県立児玉高等学校が所蔵する当時の資料を基に紹介しました。

2 | 会期

令和7年1月18日（土曜日）～4月28日（月曜日）

休館日 会期中無休

3 | 会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4 | 展示構成と主な展示資料

I 木村九蔵

主な展示資料 蚕室図面（正面図）、白玉種の飼育記録、競進社社判、木村九蔵社長印と印鑑箱

II 競進社の養蚕伝習

主な展示資料 競進社伝習所内規付参観人心得、第四回繭蚕種共進会会則、謝状、競進社の蚕種提供広告

III 養蚕伝習から蚕業教育へ

主な展示資料 名誉大賞牌と賞状、埼玉県児玉郡競進社蚕業組合立蚕業学校設置伺

IV 競進社蚕業学校の蚕業教育

主な展示資料 片天秤、顕微鏡、顕微鏡標本、蚕体解剖図

展示点数 26 点（写真パネル 12 点含む）

5 | 関連事業

ガイドツアー 企画展担当者による展示解説を開催しました。

6 | 会期中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫入場者数 3,745 名（令和7年1月18日～3月31日）

Ⅲ 教育普及

1 ワークショップ・イベント

来館のきっかけづくりとするほか、展示物に対する関心を高めたり、展示物をより身近に感じてもらうたりすることを目的にワークショップ及びイベントを開催しました。

タイトル	内容	開催回数	参加者数
キッズデー—こどものためのミュージアムの日—	粘土マグネットづくり・缶バッジづくり・鯉のぼりぬり絵つり・スタンプと紋切りでオリジナルカードづくり	1回	597名
本庄市民俗芸能上演会	金鑽神楽宮崎組 吉田林の獅子舞 西小平の万作	2回	227名
ミュージアムコンサート	早稲田大学モダンジャズ研究会 早稲田大学本庄高等学院グリークラブ	1回 1回	151名 168名
めざせはにわ職人！ミニ埴輪をつくろう	自然乾燥で固まる粘土を使用し埴輪をつくる	2回	60名
和綴じ本風メモ帳をつくろう	和綴じの技術を体験しながら四ツ目綴じのメモ帳をつくる	2回	213名
ナイトミュージアム	七夕飾りと短冊づくり・ミニ笹プレゼント・ハンズオン・本物のハニワとチェキ撮影会・ガイドツアー・クリスマス大抽選会	2回	1,001名
早稲田大学展示室企画展関連謎解きイベント「オリエントの世界からの脱出」	展示物を観察して問題を解く謎解きイベント	1回	915名
早稲田大学展示室企画展ワークショップ「挑戦！オリエントのやきもの」	オリエントの色鮮やかな陶器をまねして、自分だけの焼き物（陶器）をつくる	1回	10名
土器・どき\時々、はにわ／ワークショップ	缶バッジづくり・土器洗い・拓本しおりづくり・はにわキーホルダーづくり・トートバッグづくり・木のマグネットづくり	1回	677名
土器拓本づくり（拓本ポストカード）	本物の土器を色鉛筆で拓本をとり、オリジナルカードにする	1回	83名
古代人のモノづくりに迫る！ミニ土器をつくろう	自然乾燥で固まる粘土を使用し土器をつくる	2回	56名
中山道本庄宿を歩こう	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫から中山道を歩き、開善寺、田村本陣の門を巡る	1回	12名
世界にひとつだけのオリジナル勾玉づくり	滑石を紙やすりで削り、勾玉をつくる	2回	71名
重ね捺しスタンプラリー	ミュージアムと本庄レンガ倉庫を巡って1枚の台紙に5個のスタンプを重ね	1回	1,875名

	捺してカラフルな 1 枚の絵を完成させる		
ミュージアムライブ	早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会	1 回	74 名
チェキ撮影会	本物の土器と一緒にチェキ（インスタント写真）を撮る	2 回	141 名
ミニ巻物をつくろう	千代紙風折り紙と普通紙でミニ巻物をつくる	1 回	61 名
幡羅遺跡マスコットキャラクター「ハラ君」ワークショップ	ぬりえ配布、折り紙・ペーパークラフト体験、オリジナル缶バッジづくり	3 回	833 名

（１）キッズデー—こどものためのミュージアムの日—

1 | 概要

5 月 5 日のこどもの日を含む 7 日間をキッズデーとし、子どもたちが当館に訪れ、楽しんでもらうきっかけづくりとして、未就学児でも楽しめるワークショップを開催しました。

2 | 開催プログラム（内容）

- ①粘土で土器マグネットをつくろう（粘土を使ったマグネットづくり）
- ②ミュージアム限定／オリジナル缶バッジをつくろう（缶バッジづくり）
- ③鯉のぼりぬり絵をつろう（縄文土器を鯉のぼり風にデザインした塗り絵を磁石で釣る）
- ④スタンプと紋切でオリジナルカードをつくろう（埴輪のスタンプや紋切を貼ったカードづくり）

3 | 開催日

令和 6 年 4 月 27 日（土曜日）～29 日（祝日/月曜日）・5 月 3 日（祝日/金曜日）～6 日（月曜日）

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 1 階エントランスロビー

5 | 対象 どなたでも

6 | 費用 無料

7 | 定員 なし（当日会場受付）

8 | 参加者 合計 597 名 ※複数プログラムへの参加あり

（２）本庄市民俗芸能上演会

1 | 概要

ミュージアムの特別な空間で、本庄市の民俗芸能を上演しました。

2 | 開催日時・出演団体

第 1 回 令和 6 年 5 月 18 日（土曜日）午後 3 時～4 時

上演 金鑽神楽宮崎組、吉田林の獅子舞

第 2 回 令和 6 年 10 月 19 日（土曜日）午後 3 時 30 分～4 時

上演 西小平の万作

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム屋外特設会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 1 階エントランスロビー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし

7 | 関連事業

①特別開館

5 月 18 日（土曜日）は午後 5 時まで開館時間を延長しました。

②本庄早稲田の杜ミュージアム開館 4 周年記念事業

10 月 19 日（土曜日）開催の西小平の万作の上演は、開館 4 周年記念事業の 1 プログラムとして実施しました。

8 | 参加者 第 1 回 151 名 第 2 回 76 名

（3）ミュージアムコンサート

1 | 概要

ミュージアムの特別な空間で、早稲田大学モダンジャズ研究会及び早稲田大学本庄高等学院グリークラブの公演を開催しました。

2 | 開催日時・出演団体

第 1 回 令和 6 年 5 月 18 日（土曜日）午後 4 時～4 時 30 分

出演 早稲田大学モダンジャズ研究会

第 2 回 令和 6 年 12 月 7 日（土曜日）午後 4 時 30 分～5 時 00 分

出演 早稲田大学本庄高等学院グリークラブ

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム屋外特設会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1 階エントランスロビー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし

7 | 関連事業

①特別開館

5 月 18 日（土曜日）は午後 5 時まで、12 月 7 日（土曜日）は午後 8 時まで開館時間を延長しました。

②ナイトミュージアム 2024 クリスマス

12 月 7 日（土曜日）開催の早稲田大学本庄高等学院グリークラブの公演は、ナイトミュージアム 2024 クリスマスの 1 プログラムとして実施しました。

8 | 参加者 第 1 回 151 名 第 2 回 168 名

（4）めざせはにわ職人！ミニ埴輪をつくろう

1 | 概要

埴輪は、古墳の周囲に並べられた素焼きの土製品です。古墳時代につくられ、筒の形をした円

筒埴輪や人物・動物・家などをかたどった形象埴輪があります。埴輪は当館のメイン展示でもあり、笑った表情を持つ盾持人物埴輪や弓形埴輪など全国的にも例の少ない希少な埴輪を展示しています。埴輪づくりを通じて、埴輪の特徴やどんなものが埴輪でつくられているのか、埴輪からどんなことがわかるかなど、古墳時代の人々の生活に関心をもってもらいきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、展示物を身近に感じてもらい、どうやって作ったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。ワークショップでは、本物の埴輪をよく観察し、古墳時代の人々がどのように埴輪をつくったのかを学んだあと、自然乾燥で固まる粘土を使用し、高さ約 15 cm のミニ埴輪を製作しました。今年度から対象を「初めて当館主催の埴輪づくりに参加する方」から「どなたでも」に拡大しました。

2 | 開催日

第 1 回 令和 6 年 6 月 22 日（土曜日）・23 日（日曜日）

第 2 回 令和 6 年 10 月 26 日（土曜日）・27 日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階ギャラリー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 200 円（埴輪製作キット代金）

6 | 定員 1 日 2 回 各回 10 名（事前申込制／先着順）

7 | 参加者 第 1 回 40 名、第 2 回 20 名

8 | 参加者アンケートの結果（回答数 59）

どこからお越しですか 市内 71% 市外 29%

あなたの年代を教えてください 幼児 19% 小学生 39% 10 代 7% 20・30 代 10% 40・50 代 19% 60 代以上 7%

イベントの満足度を教えてください 大変満足 83% 満足 15% 普通 0% やや不満 0% 不満 0% 回答なし 2%

今回のようなイベントがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 80% 都合があれば参加したい 17% 参加したくない 0% 回答なし 3%

ミュージアムへの来館回数 初めて 32% 2 回目 29% 3 回以上 39%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 40% 勾玉 14% 埴輪 11% 土器 3% キッズデー 13% こども学芸員 1% ガイドツアー 3% 歴史講座・講演会 4% その他 8% 回答なし 3%

（5）和綴じ本風メモ帳をつくろう

1 | 概要

令和 5 年 10 月～12 月に開催した旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」の関連事業として初開催したところ、新たなワークショップとして好評であったことから、今年度は 2 回（第 2 回は認知症普及啓発イベント「オレンジウィーク in ほんじょう」（高齢者福祉課主催）と共催）開催しました。和綴じは日本で昔から用いられてき

た製本技術で、企画展でも和綴じされた史料を展示していました。ワークショップでは、和綴じでよく用いられる「四ツ目綴じ」の技術を体験しながら和綴じ本風のメモ帳をつくりました。

2 | 開催日

第1回 令和6年6月29日（土曜日）・30日（日曜日）

第2回 令和6年9月21日（土曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし（当日会場受付）

7 | 参加者 第1回 132名、第2回 81名

(6) ナイトミュージアム

1 | 概要

開館時間を延長し、本来の開館時間帯には来館できない層の来館を促すほか、遮光カーテンの開放やイベントの開催により普段とは違う夜ならではの空間を創出することで、来館機会の拡大を図るものです。第2回は、当館の所在する早稲田の杜地区で開催された本庄クリスマスマーケットと同日開催とし、マーケット来場者の来館を促すことで、来館機会のなかった層へのアプローチを図りました。

2 | 開催プログラム（内容）

- ①ミュージアムカフェ（飲み物を、ハニワスタンプを押したオリジナル紙コップで無料提供）
- ②ミュージアムの七夕まつり（短冊に願い事を書いて大きな笹に飾る）
- ③ミニ笹プレゼント（50cm～1mほどのミニ笹をプレゼント）
- ④本物の土器や埴輪に触ってみよう（土器や埴輪のハンズオン体験）
- ⑤ハニワとチェキ撮影会（本物の土器や埴輪を持ってチェキ（インスタント写真）を撮る）
- ⑥夜のガイドツアー（学芸員による展示解説）
- ⑦ミュージアムコンサート（早稲田大学本庄高等学院グリークラブ）
- ⑧埼玉県立児玉高等学校×BAM 部竹あかり（児玉高校とBAM部が制作した幻想的な竹あかりを展示）
- ⑨クリスマス大抽選会（ミュージアムグッズや早稲田大学グッズなどが当たる抽選会を開催）
協賛企業 株式会社カインズ、埼玉ひびきの農業協同組合

3 | 開催日時

第1回 令和6年7月6日（土曜日） 午後5時～8時

第2回 令和6年12月7日（土曜日） 午後4時30分～8時

※①～③は第1回のみ、⑦～⑨は第2回のみ

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

5 | 対象 どなたでも

6 | 費用 無料

7 | 定員 ①②④⑦⑧なし（当日会場受付） ③50名（当日会場受付／先着順） ⑤1日3回 各回20名（当日会場受付／先着順） ⑥1日3回 各回20名（当日会場受付／先着順） ⑨300名（当日会場受付／先着順）

8 | 参加者 第1回474名、第2回527名

(7) 早稲田大学展示室企画展関連謎解きイベント「オリエントの世界からの脱出」

1 | 概要

令和6年6月～9月に開催した早稲田大学展示室企画展「小野義一郎コレクション オリエントへのまなざしー古代ガラス・コプト織・アジア陶磁ー」の関連事業として開催しました。当該イベントは、参加者に謎（問題）の書かれたワークシートを配布し、早稲田大学展示室を見学しながらオリエントをテーマとした謎解きに挑戦してもらうもので、正解者にはイベント限定の缶バッジをプレゼントしました。

2 | 開催日

令和6年7月19日（金曜日）～9月1日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム 早稲田大学展示室

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし（当日会場受付）

7 | 参加者 915名

(8) 早稲田大学展示室企画展ワークショップ「挑戦！オリエントのやきもの」

1 | 概要

令和6年6月～9月に開催した早稲田大学展示室企画展「小野義一郎コレクション オリエントへのまなざしー古代ガラス・コプト織・アジア陶磁ー」の関連事業として開催しました。オリエントの色鮮やかな陶器をまねして、自分だけのやきものづくりに挑戦してもらうものです。計2日間かけて彩色まで行い、後日焼成したものをお渡ししました。

2 | 開催日

令和6年7月20日（土曜日）・8月3日（土曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター4階 N406

4 | 対象 小学生

5 | 費用 無料

6 | 定員 10名（事前申込制／先着順）

7 | 参加者 10名

(9) 土器・どき\時々、はにわ／ワークショップ

1 | 概要

令和6年7月～8月に開催したミニ企画展「これでキミも学芸員！」の関連事業として開催しました。

2 | 開催プログラム（内容）

- ①缶バッジづくり（ミュージアム限定オリジナル缶バッジをつくる）
- ②はにわキーホルダーづくり（粘土を使ったキーホルダーをつくる）
- ③土器洗い（本物の土器を水で洗う体験）
- ④拓本しおりづくり（本物の土器を色鉛筆で拓本をとり、ラミネート加工でしおりをつくる）
- ⑤土器・埴輪デザイントートバッグづくり（土器や埴輪デザインのステンシルシートを使ったオリジナルトートバッグをつくる）
- ⑥木のマグネットづくり（輪切りした枝木に埴輪のスタンプを押したマグネットをつくる）

3 | 開催日

令和6年7月19日（金曜日）～8月25日（日曜日）の土曜日・日曜日・祝日及び8月15日（木曜日）・16日（金曜日） 計14日間

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

5 | 対象 どなたでも

6 | 費用 ①②③④⑥無料、⑤150円

7 | 定員 なし（当日会場受付／先着順）

8 | 参加者 合計677名 ※複数プログラムへの参加あり

(10) 土器拓本づくり

1 | 概要

ワークショップでは、色鉛筆を使ってカラフルな拓本をとり、できた拓本はポストカードに仕上げました。本物の土器のかげらで拓本をとることで、目では確認しにくい模様を浮かび上がらせました。

2 | 開催日

令和6年9月21日（土曜日）～23日（祝日/月曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし（当日会場受付）

7 | 参加者 83名

(11) 古代人のモノづくりに迫る！ミニ土器をつくろう

1 | 概要

製作工程を体験することで、展示物を身近に感じてもらい、どうやってつくったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。ワークショップでは、常設展示室を見学し土器

の特徴について学んだあと、自然乾燥で固まる粘土を使用し、高さ約 15 cmのミニ土器を製作しました。

2 | 開催日

第1回 令和6年9月28日（土曜日）・29日（日曜日）

第2回 令和7年2月1日（土曜日）・2日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階ギャラリー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 200円（土器製作キット代金）

6 | 定員 1日2回 各回10名（事前申込制／先着順）

7 | 参加者 第1回30名、第2回26名

8 | 参加者アンケートの結果（回答数56）

どこからお越しですか 市内55% 市外41% 回答なし4%

あなたの年代を教えてください 幼児9% 小学生48% 10代7% 20・30代14% 40・50代13% 60代以上5% 回答なし4%

今回のワークショップをどこで知りましたか 広報18% 市HP5% SNS29% 口コミ20% ミュージアムHP5% その他20% 回答なし4%

ワークショップの満足度を教えてください 大変満足79% 満足18% 普通0% やや不満0% 不満0% 回答なし4%

今回のようなワークショップがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい71% 都合があれば参加したい25% 参加したくない0% 回答なし4%

ミュージアムへの来館回数 初めて18% 2回目16% 3回以上61% 回答なし5%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて45% 勾玉24% 埴輪10% 土器0% キッズデー3% こども学芸員2% ガイドツアー0% 歴史講座・講演会0% その他11% 回答なし5%

（12）ミュージアムライブ

1 | 概要

ミュージアムの特別な空間で、早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会の公演を開催しました。

2 | 開催日時・出演団体

令和6年10月19日（土曜日）午後4時～4時30分

出演 早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし

7 | 関連事業

本庄早稲田の杜ミュージアム開館 4 周年記念事業

開館 4 周年記念事業の 1 プログラムとして実施しました。

8 | 参加者 74 名

(13) 中山道本庄宿を歩こう

1 | 概要

早稲田大学展示室企画展「中山道と本陣一本庄宿と太田宿」の関連事業として開催しました。
当館学芸員が解説をしながら本庄宿を実際に歩いて田村本陣の門などを訪ね、開善寺ではご住職からもお話しいただきました。また、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫では企画展「中山道と本陣ー『休泊控帳』をひもとくー」の展示解説も行いました。

2 | 開催日

第 1 回 令和 6 年 11 月 28 日（木曜日）午後 9 時 30 分～正午

第 2 回 令和 6 年 11 月 30 日（土曜日）午後 9 時 30 分～正午

3 | 会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫（集合）→開善寺→田村本陣の門→旧本庄警察署（解散）

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 各回 10 名（事前申込制／先着順）

7 | 関連事業

早稲田大学展示室企画展「中山道と本陣一本庄宿と太田宿」

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道と本陣ー『休泊控帳』をひもとくー」

8 | 参加者 第 1 回 5 名 第 2 回 7 名

9 | 参加者アンケートの結果（回答数 11）

どこからお越しですか 市内 45% 市外 55%

あなたの年代を教えてください 10 代 0% 20・30 代 25% 40・50 代 25% 60 代以上 50%

今回のイベントをどこで知りましたか 広報 17% 市 HP8% SNS17% ミュージアム HP25%
チラシ 8% ロコミ 25% その他 0% ※複数回答あり

イベントの満足度を教えてください 大変満足 42% 満足 42% 普通 17% やや不満 0% 不満 0%

今回のイベントに参加して中山道本庄宿への関心・理解は深まりましたか 非常に深まった 42% 深まった 42% どちらともいえない 8% 深まらなかった 0% 全く深まらなかった 0%

今回のようなイベントあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 42% 都合があれば参加したい 58% 参加したくない 0%

今回の企画展はすでに観覧いただいていますか 観覧した 42% 観覧していない 58%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 43% ギャラリートーク・ガイドツアー29% 講座・講演会 21% ワークショップ 0% その他 0% 回答なし 7% ※複数回答あり

(14) 世界にひとつだけのオリジナル勾玉づくり

1 | 概要

勾玉は、Cの字形に湾曲した形で、丸く膨らんだ一端に孔があいており、紐をとおして使用した装身具（アクセサリ）のひとつです。日本では縄文時代の遺跡から発見された例が最も古く、弥生時代、古墳時代にもつくられました。材質は滑石、蠟石、ガラス、ヒスイ、メノウなど様々なものがみられます。本市でも、長沖古墳群をはじめ、複数の遺跡から発見されています。勾玉づくりを通じて、なぜこんな形をしているのか、装身具だとなぜわかったのかなど、古代の人々の生活に関心をもってもらうきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、どうやってつくったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。ワークショップでは、比較的加工しやすい「滑石」を使用し、世界にひとつだけのオリジナルの勾玉を製作しました。

2 | 開催日

第1回 令和6年11月9日（土曜日）・10日（日曜日）・14日（埼玉県民の日/木曜日）

第2回 令和7年3月29日（土曜日）・30日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階ギャラリー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 石材により 200 円または 350 円（勾玉製作キット代金）

6 | 定員 1 日 2 回 各回 10 名（事前申込制／先着順）

7 | 参加者 第1回 30 名、第2回 41 名

8 | 参加者アンケートの結果（回答数 71）

どこからお越しですか 市内 59% 市外 39% 回答なし 1%

あなたの年代を教えてください 幼児 8% 小学生 41% 10代 0% 20・30代 14% 40・50代 27% 60代以上 8% 回答なし 1%

今回のワークショップをどこで知りましたか 広報 36% 市HP 13% SNS 11% ミュージアムHP 19% 口コミ 17% 新聞 0% その他 3% 回答なし 1% ※複数回答あり

ワークショップの満足度を教えてください 大変満足 92% 満足 6% 普通 0% やや不満 0% 不満 0% 回答なし 3%

今回のようなワークショップがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 83% 都合があれば参加したい 14% 参加したくない 0% 回答なし 3%

ミュージアムへの来館回数 初めて 21% 2回目 25% 3回以上 54%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 31% 勾玉 18% キッズデー 7% こども学芸員講座 4% 埴輪

14% 土器 12% 歴史講座・講演会
5% 史跡探訪 0% その他 9%

(15) 企画展各会場を巡る「重ね捺しスタンプラリー」

1 | 概要

令和6年10月～令和7年1月に開催した早稲田大学展示室企画展「中山道と本陣一本庄宿と太田宿」と旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道と本陣『休泊控帳』をひもとく」の関連事業として開催しました。両方の会場を巡って専用用紙に計5個のスタンプを重ね捺しすることで、1枚の絵ができあがるというもので、両企画展に足を運んでもらうきっかけとなることを目的として行いました。

2 | 開催日

令和6年11月1日（金曜日）～令和7年1月13日（祝日/月曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし

7 | 参加者 1,875名

(16) チェキ撮影会

1 | 概要

令和6年10月～12月に開催した企画展「埴輪一本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで」や令和7年1月～3月に開催した本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」の関連事業として開催しました。企画展来場のきっかけづくりとするほか、地域の歴史に対する関心を高めるためのものです。イベントでは、本物の土器や各団体のマスコットと一緒にチェキ（インスタント写真）を撮りました。

※チェキは、富士フイルム（株）の登録商標です。

2 | 開催日

第1回 令和6年12月7日（土曜日）全3回

第2回 令和7年2月15日（土曜日）全2回

第3回 令和7年2月22日（土曜日）全2回

第4回 令和7年3月8日（土曜日）全2回

第5回 令和7年3月15日（土曜日）全2回

第6回 令和7年3月23日（日曜日）全2回

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 各回20名（当日会場受付／先着順）

7 | 関連事業

第1回 企画展「埴輪一本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで」

第2回～第6回 本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」

8 | 共催 第2回～第6回 美里町・神川町・上里町・深谷市・早稲田大学

9 | 参加者 第1回 51名、第2回 13名、第3回 19名、第4回 15名、第5回 28名、第6回 15名

(17) ミニ巻物をつくろう

1 | 概要

巻物の資料を展示した企画展「中山道と本陣一本庄宿と太田宿」の関連事業として開催しました。ワークショップでは、表紙は千代紙風折り紙、軸にはストロー、紐はリボンを使い、本紙は白紙のほか、中山道本庄宿を描いた塗り絵を選ぶこともできました。千代紙風折り紙とリボンも色を選べるので、組合せを楽しみながら、自分だけのミニ巻物をつくりました。

2 | 開催日

令和6年12月21日（土曜日）・22日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 定員 なし（当日会場受付）

7 | 参加者 61名

(18) ハラ君ワークショップ

1 | 概要

第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」に幡羅官衙遺跡群（深谷市）出土の「人面線刻土製品」が出品されました。深谷市にはこれをモチーフにしたマスコットキャラクター「ハラ君」がいます。この展覧会の関連事業として、「ハラ君」のワークショップを開催し、企画展に興味・関心持ち、足を運ぶきっかけづくりとしました。

2 | 開催プログラム（内容）

①幡羅遺跡マスコットキャラクター「ハラ君」ぬりえ配布

②幡羅遺跡マスコットキャラクター「ハラ君」折り紙・ペーパークラフト体験

③幡羅遺跡マスコットキャラクター「ハラ君」オリジナル缶バッジづくり

2 | 開催日

①令和7年1月18日（土曜日）～3月23日（日曜日）

②令和7年2月22日（土曜日）～2月24日（月曜日）

③令和7年3月1日（土曜日）・2日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

①早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階 情報資料室

②・③早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

- 4 | 対象 どなたでも
 5 | 費用 無料
 6 | 定員 なし（当日会場受付）
 7 | 参加者 ①680名 ②85名 ③68名

2 講座・講演会

専門分野の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、書籍等から得られる知識とは違う知的好奇心の喚起や新たな興味・関心をもつきっかけづくりを目的として講座や講演会を開催しました。また、夏休みには小学生を対象とした「こども学芸員講座」等を開催しました。

演題等	講師	参加者数
企画展「下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活」記念講演会 「縄文土器を製作する人々の心性」	高橋 龍三郎 氏（早稲田大学名誉教授）	74名
こども学芸員講座「これでキミも学芸員！」 低学年コース 高学年コース	当館学芸員	7名 6名
本庄早稲田の杜ミュージアム開館 4 周年記念講演会 「渋沢栄一と読む『論語』」	渡邊 義浩 氏（本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学常任理事）	52名
企画展「中山道と本陣－本庄宿と太田宿－」関連講演会 （本庄早稲田の杜ミュージアム開館 4 周年記念講演会） 『休泊控帳』から見た田村本陣 「幕府の交通政策と中山道」 「江戸後期の風俗と中山道の宿場町」	秋山 寛行（当館学芸員） 杉山 正司 氏（元埼玉県立文書館館長） 児玉 憲治 氏（早稲田大学非常勤講師）	66名 53名 77名
企画展「埴輪－本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで－」 関連講演会 「本庄・児玉地域における埴輪の導入と展開」 関連講座 第1回「盾持人物埴輪の意義」 第2回「東日本における馬形埴輪の出現と展開」	日高 慎 氏（東京学芸大学教育学部教授） 青笹 基史 氏（埼玉県立さきたま史跡の博物館） 齋藤 直樹 氏（藤岡市教育委員会文化財保護課）	57名 29名 55名
企画展／第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会		

「古代の児玉・深谷地域」関連講演会 第1回「神川町皂樹原遺跡―炭窯・鍛冶・寺院―」 第2回「上里町内における古代遺跡の変遷―律令期を中心に―」 第3回「律令期の深谷周辺」	金子 彰男 氏（神川町教育委員会生涯学習課）	56 名
	林 道義 氏（上里町教育委員会生涯学習課）	79 名
	知久 裕昭 氏（深谷市教育委員会文化振興課）	90 名
古文書講座（入門編） 第1回 古文書にふれてみよう 第2回 江戸時代の数字・干支・人名を読もう 第3回 古文書から地域の歴史をみてみよう	第1・3回 秋山 寛行（当館学芸員） 第2回 林 かおる 氏（桶川市歴史民俗資料館学芸員）	10 名
埴輪を撮る	黒澤 拓朗 氏	6 名

※肩書は開催日時点

(1) 企画展「下野谷遺跡から見る風景―縄文時代の人々と竪穴住居の生活」記念講演会

1 | 概要

令和5年12月から令和6年5月開催の早稲田大学展示室企画展「下野谷遺跡から見る風景―縄文時代の人々と竪穴住居の生活」の関連講演会として開催しました。

2 | 演題・講師

「縄文土器を製作する人々の心性」

講師 高橋 龍三郎 氏（早稲田大学名誉教授）

3 | 開催日時

令和6年5月18日（土曜日） 午後1時～2時30分

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

5 | 対象 どなたでも

6 | 費用 無料

7 | 参加者 74 名

8 | 参加者アンケートの結果（回答数 56）

どこからお越しですか 市内 39% 市外 59% 回答なし 2%

あなたの年代を教えてください 10代 4% 20・30代 2% 40・50代 20% 60代以上 71% 回答なし 4%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報 30% 市HP 8% SNS 6% 館内掲示・チラシ 13% ミュージアム HP 22% 口コミ 8% その他 14% ※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください 大変満足 45% 満足 39% 普通 9% やや不満 2% 不満 0% 回答なし 5%

講演会の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 38% わかりやすかった 46% どちらともいえない 4% わかりにくかった 2% 非常にわかりにくかった 0% 回答なし 6%

今回のような講演会があったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 64% 都合があれば参加したい 32% 参加したくない 0% 回答なし 4%

ミュージアムへの来館回数 初めて 21% 2 回目 18% 3 回以上 59% 回答なし 2%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 36% ワークショップ 5% 講座・講演会 42% ガイドツアー 6% その他 8% 回答なし 3%

市と大学の連携事業として希望するものを教えてください 講座・講演会 46% ワークショップ 13% 企画展・特別展 35% その他 0% 希望しない 0% 回答なし 6%

(2) こども学芸員講座「これでキミも学芸員！」

1 | 概要

博物館では資料の収集・保管、調査研究、展示公開、教育普及など様々な事業が行われていますが、博物館で働く学芸員の仕事内容については一般に知られていません。こども学芸員講座は、夏休み期間を利用して小学生向けに学芸員の仕事を知ってもらう内容とし、博物館の存在やその仕事に興味をもってもらうきっかけづくりとするものです。今回は、「低学年コース」と「高学年コース」の2コースを開講し、各学年に合わせて考古学の調査研究を体験したりしました。同時期に開催中のミニ企画展「これでキミも学芸員！」を活用しながら、学芸員の仕事を体験し、夏休みの自由研究や自主学習のテーマとしても活用してもらうことで、郷土の歴史や考古学に対する関心を深めてもらう機会としました。また、ミニ企画展会場で成果発表として、制作した埴輪を展示しました。

2 | コース・対象・講座内容

低学年コース（対象：小学校1～3年生）／高学年コース（対象：小学校4～6年生）

第1回 土器や埴輪を観察して、分かったことを記録しよう。

講座内容 ミニ企画展見学、土器洗い、拓本体験（低学年クラスは乾拓法、高学年クラスは湿拓法）

第2回 調べた成果をまとめ、実際に埴輪を作って展示してみよう。

講座内容 埴輪づくり、展示体験

3 | 開催日時

低学年コース 7月31日（水曜日）・8月7日（水曜日）全2回 午前10時～正午

高学年コース 8月2日（金曜日）・8月9日（金曜日）全2回 午前10時～正午

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室

5 | 費用 200円（埴輪製作キット代金）

6 | 参加者 低学年コース 7名／高学年コース 6名

7 | 参加者アンケートの結果（回答数12）

どこから来ましたか 市内 58% 市外 42%

講座はどうでしたか 楽しかった 100% 普通 0% つまらなかった 0%

また参加したいですか 参加したい 100% 参加したくない 0%

ミュージアムへの来館回数 初めて 0% 2 回目 17% 3 回以上 83%

(3) 本庄早稲田の杜ミュージアム開館 4 周年記念講演会

1 | 概要

開館 4 周年を記念し、三国志など古典中国学が専門で開館から当館名誉館長を務める渡邊義浩氏を講師に迎え、講演会を開催しました。孔子の言行録をまとめた『論語』は、いろいろな解釈が注として付けられ残っており、最も古いものが曹魏の何晏が書いた『論語集解』です。最も古い『論語』の特徴とともに渋沢栄一も愛した『論語』の魅力について語っていただきました。

2 | 演題・講師

「渋沢栄一と読む『論語』」

講師 渡邊 義浩 氏（本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学常任理事）

3 | 開催日時 令和 6 年 10 月 12 日（土曜日） 午後 2 時～3 時 30 分

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

5 | 対象 どなたでも

6 | 費用 無料

7 | 参加者 52 名

8 | 参加者アンケートの結果（回答数 45）

どこからお越しですか 市内 71% 市外 29%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報 72% 市 HP2% SNS4% ミュージアム HP6% 口コミ 11% その他 4% ※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください 大変満足 42% 満足 29% 普通 9% やや不満 2% 不満 0% 回答なし 18%

講演会の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 33% わかりやすかった 49% どちらともいえない 7% わかりにくかった 2% 非常にわかりにくかった 0% 回答なし 9%

今回のような講演会があったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 58% 都合があれば参加したい 42% 参加したくない 0%

ミュージアムへの来館回数 初めて 16% 2 回目 11% 3 回以上 33%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 24% 勾玉 9% 埴輪・土器 2% 史跡探訪 4% 歴史講座 20% 講演会 42% その他 4% ※複数回答あり

(4) 企画展「中山道と本陣一本庄宿と太田宿」関連講演会

1 | 概要

令和 6 年 10 月から令和 7 年 1 月開催の早稲田大学展示室企画展「中山道と本陣一本庄宿と太田宿」の関連講演会として開催しました。

2 | 演題・講師・開催日時

第1回『休泊控帳』から見た田村本陣（本庄早稲田の杜ミュージアム開館4周年記念講演会）

講師 秋山 寛行（当館学芸員）

令和6年10月19日（土曜日） 午後1時30分～3時

第2回「幕府の交通政策と中山道」

講師 杉山 正司 氏（元埼玉県立文書館館長）

令和6年11月23日（祝日/土曜日） 午後2時～3時30分

第3回「江戸後期の風俗と中山道の宿場町」

講師 児玉 憲治 氏（早稲田大学非常勤講師）

令和6年12月7日（土曜日） 午後2時～3時30分

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 第1回66名、第2回53名、第3回77名

7 | 参加者アンケートの結果（回答数158）

どこからお越しですか 市内65% 市外34% 回答なし1%

あなたの年代を教えてください 10代0% 20・30代3% 40・50代10% 60代以上87%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報49% 市HP9% SNS2% 館内掲示・チラシ16%
ミュージアムHP15% 口コミ4% その他4% 回答なし1% ※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください 大変満足35% 満足44% 普通13% やや不満3% 不満0% 回答なし5%

講演会の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった35% わかりやすかった48%
どちらともいえない6% わかりにくかった3% 非常にわかりにくかった0% 回答なし9%

今回のような講演会があったらまた参加したいですか ぜひ参加したい58% 都合があれば参加したい39% 参加したくない0% 回答なし3%

ミュージアムへの来館回数 初めて6% 2回目13% 3回以上80% 回答なし1%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて14% ワークショップ6% 講座・講演会71% ガイドツアー6%
その他2% 回答なし2% ※複数回答あり

市と大学の連携事業として希望するものを教えてください 講座・講演会50% ワークショップ7% 企画展・特別展40%
その他0% 希望しない0% 回答なし3% ※複数回答あり

（5）企画展「埴輪一本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで」関連講演会・講座

1 | 概要

令和6年10月から12月開催の企画展「埴輪一本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで」の関連講演会として開催しました。

2 | 演題・講師・開催日時

講演会「本庄・児玉地域における埴輪の導入と展開」

講師 日高 慎 氏（東京学芸大学教育学部教授）

令和6年11月30日（土曜日） 午後1時30分～3時

講座

第1回「盾持人物埴輪の意義」

講師 青笹 基史 氏（埼玉県立さきたま史跡の博物館）

令和6年11月16日（土曜日） 午後1時30分～3時

第2回「東日本における馬形埴輪の出現と展開」

講師 齋藤 直樹 氏（藤岡市教育委員会文化財保護課）

令和6年12月14日（土曜日） 午後1時30分～3時

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 講演会 57名、講座 第1回 29名、第2回 55名

7 | 参加者アンケートの結果（回答数 119）

どこからお越しですか 市内 25% 市外 74% 回答なし 1%

今回の講演会・講座をどこで知りましたか 広報 19% チラシ 25% 市 HP 5% SNS 8% ミュージアム HP 30% 口コミ 12% その他 2% ※複数回答あり

講演会・講座の満足度を教えてください 大変満足 50% 満足 38% 普通 3% やや不満 0% 不満 0% 回答なし 10%

講演会・講座の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 47% わかりやすかった 42% どちらともいえない 3% わかりにくかった 1% 非常にわかりにくかった 0% 回答なし 8%

今回のような講演会・講座があったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 72% 都合があれば参加したい 23% 参加したくない 0% 回答なし 5%

ミュージアムへの来館回数 初めて 15% 2回目 8% 3回以上 75% 回答なし 3%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 18% 勾玉 2% 埴輪・土器 2% 史跡探訪 4% 歴史講座 32% 講演会 37% その他 1% 回答なし 3% ※複数回答あり

（6）企画展／第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」関連講演会

1 | 概要

令和7年1月～3月に開催した企画展／第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」の関連講演会として開催しました。

2 | 演題・講師・開催日時

第1回「神川町皂樹原遺跡―炭窯・鍛冶・寺院―」

講師 金子 彰男 氏（神川町教育委員会生涯学習課）

開催日時 令和7年1月25日（土曜日） 午後1時30分～午後3時

第2回「上里町内における古代遺跡の変遷―律令期を中心に―」

講師 林 道義 氏（上里町教育委員会生涯学習課）

開催日時 令和7年2月8日（土曜日） 午後1時30分～午後3時

第3回「律令期の深谷周辺」

講師 知久 裕昭 氏（深谷市教育委員会文化振興課）

開催日時 令和7年3月1日（土曜日） 午後1時30分～午後3時

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 第1回56名、第2回79名、第3回90名

7 | 参加者アンケートの結果（回答数195）

どこからお越しですか 本庄市 30% 美里町 3% 神川町 2% 上里町 6% 深谷市 36% その他 22% 回答なし 2%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報 43% 市HP 3% SNS 3% ミュージアムHP 28% 口コミ 11% その他 12% 回答なし 1% ※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください 大変満足 28% 満足 44% 普通 13% やや不満 5% 不満 1% 回答なし 10%

講演会の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 31% わかりやすかった 46% どちらともいえない 13% わかりにくかった 2% 非常にわかりにくかった 3% 回答なし 6%

今回のような講演会があったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 59% 都合があれば参加したい 38% 参加したくない 0% 回答なし 3%

ミュージアムへの来館回数 初めて 7% 2回目 16% 3回以上 76% 回答なし 1%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 43% 勾玉 2% 埴輪・土器 2% 歴史講座 31% 講演会 42% その他 3% 回答なし 5% ※複数回答あり

(7) 古文書講座（入門編）

1 | 概要

はじめて古文書を読む方向けの入門講座で、江戸時代の古文書をテキストに古文書のくずし字の基本を学びました。

2 | 内容・開催日時

第1回 令和7年3月12日（水曜日）古文書にふれてみよう

第2回 令和7年3月19日（水曜日）江戸時代の数字・干支・人名を読もう

第3回 令和7年3月26日（水曜日）古文書から地域の歴史をみてみよう

時間はいずれも午後1時30分～午後3時

3 | 講師

第1回・第3回 秋山 寛行（当館学芸員）

第2回 林 かおる 氏（桶川市歴史民俗資料館学芸員）

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター4階 N406

5 | 対象 はじめて古文書を読もうとする方で、全3回すべてに参加できる方

6 | 費用 無料

7 | 参加者 10名

8 | 参加者アンケートの結果（回答数10）

どこからお越しですか 市内 90% 市外 10%

あなたの年代を教えてください 10代 0% 20・30代 0% 40・50代 30% 60代以上 70%

今回の講座をどこで知りましたか 広報 91% 市 HP 0% ミュージアム HP 0% SNS 0% チラシ 9% 口コミ 0% その他 0% ※複数回答あり

講座の満足度を教えてください 大変満足 70% 満足 20% 普通 0% やや不満 0% 不満 0% 回答なし 10%

講座の内容はわかりやすかったですか 非常にわかりやすかった 10% わかりやすかった 80% どちらともいえない 0% わかりにくかった 0% 非常にわかりにくかった 0% 回答なし 10%

今回のような講座があったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 80% 都合があれば参加したい 20% 参加したくない 0%

今後も継続して古文書を読みたいですか 読みたい 100% 読みたいと思わない 0% どちらともいえない 0%

ミュージアムへの来館回数 初めて 20% 2回目 10% 3回以上 70%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 18% ギャラリートーク・ガイドツアー 0% 講座・講演会 73% その他 0% ※複数回答あり

(8) 埴輪を撮る

1 | 概要

令和6年10月～12月に開催した企画展「埴輪一本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで」で修復後初公開した長沖十兵衛塚古墳出土の馬形埴輪を素材として、埴輪を撮影する講座を開催しました。講師に当館の常設展示録を撮影したプロカメラマン黒澤拓朗氏を迎え、基本的な撮影テクニックの講義ののち、参加者は持参したカメラを使って本格的な埴輪の撮影を体験しました。

2 | 開催日

第1回 令和7年3月21日（祝日/金曜日）

第2回 令和7年3月22日（土曜日）

3 | 講師

黒澤 拓朗 氏

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター4階 S401

5 | 対象 どなたでも

6 | 費用 無料

7 | 定員 各日1回 各回5名（事前申込制／先着順）

8 | 用意するもの カメラ※デジタル一眼カメラが望ましい

9 | 参加者 第1回4名、第2回2名

10 | 参加者アンケートの結果（回答数6）

どこからお越しですか 市内 83% 市外 17%

あなたの年代を教えてください 10代 17% 20・30代 0% 40・50代 50% 60代以上 33%

今回のイベントをどこで知りましたか 広報 50% MUSEUM NEWS 0% 市 HP 13% SNS 13%

ミュージアム HP 13% 口コミ 0% その他 13% ※

複数回答あり

イベントの満足度を教えてください 大変満足 100% 満足 0% 普通 0% やや不満 0%

不満 0%

今回のようなイベントがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 100% 都合があ

えば参加したい 0% 参加したく

ない 0%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 38% ギャラリートーク・ガ

イドツアー 13% 講座・講演会 25%

ワークショップ 25% その他 0%

3 ガイドツアー（ギャラリートーク）

学芸員をはじめとする担当者が展示資料を解説しながら見どころを紹介するイベントで、企画展来場のきっかけづくりとするほか、展示パネルを読むだけでは得られない知識を得ることで、展示に対する理解をより深めてもらう機会とするため実施しました。

企画展名／イベント名	開催回数	参加者数
企画展「下野谷遺跡から見る風景ー縄文時代の人々と堅穴住居の生活」 ギャラリートーク	1回	19名
企画展「オリエントへのまなざしー古代ガラス・コプト織・アジア陶磁 ー」小野隆彦先生と学芸員のギャラリートーク	1回	21名
ナイトミュージアム 夜のガイドツアー	2回	66名
企画展「中山道と本陣ー本庄宿と太田宿ー」ギャラリートーク	3回	82名

企画展／第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」 ギャラリートーク	8回	202名
---	----	------

(1) 企画展「下野谷遺跡から見る風景ー縄文時代の人々と竪穴住居の生活」ギャラリートーク

1 | 概要

企画展担当者である井上裕一氏（早稲田大学考古資料館学芸員）による展示解説を行いました。

2 | 開催日時

令和6年5月18日（土曜日） 午後0時～午後0時20分

3 | 会場 早稲田大学展示室

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 19名

7 | 参加者アンケートの結果（回答数16）

どこからお越しですか 市内0% 市外100%

あなたの年代を教えてください 10代6% 20・30代6% 40・50代31% 60代以上56%

今回のギャラリートークをどこで知りましたか ミュージアムウィークパンフレット 11% 市HP6% ミュージアムHP33% SNS11% ロコミ6% その他28% 回答なし6% ※複数回答あり

ギャラリートークの満足度を教えてください 大変満足63% 満足25% 普通6% やや不満0% 不満0% 回答なし6%

展示への理解は深まりましたか 非常に深まった63% 深まった31% どちらともいえない0% 深まらなかった0% 全く深まらなかった0% 回答なし6%

今回のようなギャラリートークがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい75% 都合があれば参加したい25% 参加したくない0%

ミュージアムへの来館回数 初めて44% 2回目19% 3回以上38%

ミュージアムへの来館目的 ギャラリートーク17% 講演会45% 早稲田大学企画展14% 本庄市民俗芸能上演会7% ミュージアムコンサート7% ※複数回答あり

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて61% ギャラリートーク・ガイドツアー6% 講座・講演会28% ワークショップ0% その他6% ※複数回答あり

(2) 企画展「オリエントへのまなざしー古代ガラス・コプト織・アジア陶磁ー」小野隆彦先生と学芸員のギャラリートーク

1 | 概要

企画展オープニングイベントとして、小野隆彦氏（元東京農工大学副学長、元早稲田大学客員

教授)に御尊父義一郎氏とコレクションの成り立ち、ご寄贈いただいた経緯や意義などについてお話いただき、その後、馬場匡浩氏(早稲田大学考古資料館学芸員)による展示解説を行いました。

2 | 開催日時

令和6年6月29日(土曜日) 午後1時~2時30分

3 | 会場 早稲田大学展示室

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 21名

(3) ナイトミュージアム 夜のガイドツアー

1 | 概要

学芸員による展示解説を行いました。

2 | 開催日時

第1回 令和6年7月6日(土曜日) 午後6時~/午後7時~

第2回 令和6年12月7日(土曜日) 午後5時~/午後6時~

3 | 会場 本庄早稲田の杜ミュージアム

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 第1回55名、第2回11名

(4) 企画展「中山道と本陣ー本庄宿と太田宿ー」ギャラリートーク

1 | 概要

企画展担当者や関連講演会講師による展示解説を行いました。

2 | 内容・解説者

第1回 秋山 寛行(当館学芸員)

第2回 藤島 夢花氏(美濃加茂市民ミュージアム学芸員)

第3回 児玉 憲治氏(早稲田大学非常勤講師)・秋山 寛行(当館学芸員)

3 | 開催日時

第1回 令和6年10月31日(土曜日) 午前10時~/午後2時~

第2回 令和6年11月19日(土曜日) 午前10時~/午後2時~

第3回 令和6年12月7日(土曜日) 午後3時15分~

3 | 会場 早稲田大学展示室

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 第1回16名、第2回36名、第3回30名

7 | 参加者アンケートの結果(回答数46)

どこからお越しですか 市内46% 市外54%

あなたの年代を教えてください 10代0% 20・30代2% 40・50代33% 60代以上65%

今回のギャラリートークをどこで知りましたか 広報37% 市HP8% ミュージアムHP12%

SNS0% チラシ 16% ロコミ 14% その他

12% 回答なし2% ※複数回答あり

ギャラリートークの満足度を教えてください 大変満足 63% 満足 28% 普通 2% やや不満 0% 不満 0% 回答なし7%

展示への理解は深まりましたか 非常に深まった 63% 深まった 30% どちらともいえない 0% 深まらなかった 0% 全く深まらなかった 0% 回答なし7%

今回のようなギャラリートークがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 65% 都合があえば参加したい 30% 参加したくない 0% 回答なし4%

ミュージアムへの来館回数 初めて 20% 2回目 9% 3回以上 72%

ミュージアムへの来館目的 ギャラリートーク 48% 企画展「中山道と本陣」39% 常設展示 13% ※複数回答あり

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 31% ギャラリートーク・ガイドツアー21% 講座・講演会 28% ワークショップ 7% その他 5% 回答なし9% ※複数回答あり

(5) 企画展／第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」ギャラリートーク

1 | 概要

企画展担当者でもある金子彰男氏・北山直人氏（神川町教育委員会生涯学習課）、林道義氏（上里町教育委員会生涯学習課）、知久裕昭氏・平野哲也氏（深谷市教育委員会文化振興課）、松本完・太田博之（当館学芸員）による展示解説を行いました。

2 | 開催日時

令和7年1月25日（土曜日）午後3時～

令和7年2月8日（土曜日）午後3時45分～

令和7年3月1日（土曜日）午後3時25分～

令和7年2月15日（土曜日）・2月22日（土曜日）・3月8日（土曜日）・3月15日（土曜日）
・3月23日（土曜日） 午前10時～／午後2時～

3 | 会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室

4 | 対象 どなたでも

5 | 費用 無料

6 | 参加者 202名

7 | 参加者アンケートの結果（回答数66）

どこからお越しですか 本庄市 14% 美里町 3% 神川町 0% 上里町 5% 深谷市 17% その他 62%

あなたの年代を教えてください 10代9% 20・30代12% 40・50代48% 60代以上30%

今回のギャラリートークをどこで知りましたか 広報 12% 市 HP1% ミュージアム HP12% SNS3% チラシ 10% ロコミ 22% その他

36% 回答なし 3% ※複数回答あり

ギャラリートークの満足度を教えてください 大変満足 48% 満足 36% 普通 12% やや不満 2% 不満 0% 回答なし 2%

展示への理解は深まりましたか 非常に深まった 42% 深まった 52% どちらともいえない 3% 深まらなかった 0% 全く深まらなかった 0% 回答なし 3%

今回のようなギャラリートークがあったらまた参加したいですか ぜひ参加したい 32% 都合があえば参加したい 64% 参加したくない 2% 回答なし 3%

ミュージアムへの来館回数 初めて 61% 2回目 12% 3回以上 24% 回答なし 3%

ミュージアムへの来館目的 ギャラリートーク 16% 地域連携展 33% 企画展「古代エジプトの棺と埋葬」29% 常設展示 20% 回答なし 1%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか 初めて 77% ギャラリートーク・ガイドツアー 4% 講座・講演会 8% ワークショップ 3% その他 0% 回答なし 7% ※複数回答あり

IV 博学連携事業

1 博学連携事業

平成29年度告示の学習指導要領では、学校教育における博物館の利用を積極的に進めることがうたわれており、当館を郷土学習の拠点として、学校団体の積極的な受け入れをはじめ、本庄市立小・中学校を対象に見学用バスを運行するなど、来館の推進を図っています。

(1) 校外学習 - そうだ！ミュージアムに行こう

展示室の見学とワークショップ・フィールドワークを組み合わせた博学連携プログラムを実施しました。展示室見学では、学芸員のガイドで展示室内を見学しました。内容は、「埴輪の世界」「本庄の歩み」「企画展示（早稲田大学展示室・交流ひろば等）」の3展示エリアの見学と自由見学を組み合わせ、学習目的に合わせて決定しています。見学にあたっては、ワイヤレス送受信機を活用し、感染症対策及び見学環境改善を継続しています。ワークショップでは、本庄の歴史や展示物をより深く知るためのプログラムとして、市内の遺跡から出土した本物の土器や埴輪に直接触れる体験（ハンズオン）や拓本体験、勾玉や埴輪づくりを実施しました。

来館状況		
市内小学校	15校	734名
市外小学校	3校	283名
市内中学校	3校	72名
市外中学校	2校	86名
市内高等学校	2校	53名
ワークショップ等実施状況		
ハンズオン	12校	650名
勾玉づくり	10校	584名
埴輪づくり	3校	64名
拓本体験	4校	138名

(2) 出前授業 - 教室にミュージアムをお届け

学校では、校外学習の機会は限られており、学習の進捗に合わせての来館が難しい場合も多くあります。出前授業では、当館から実物資料を学校に持ち込むことで、教室をミニミュージアム化し、学芸員が解説を行うことで、児童・生徒が学習内容をより実感的に理解できるよう実施しました。

実施状況

中央小学校 6 年生 98 名
(ハンズオン・埴輪づくり)

2 早稲田大学本庄高等学院との連携事業

当館では、同じ早稲田大学本庄キャンパス内に立地する早稲田大学本庄高等学院との連携事業を実施しています。学芸員や教員を志望する学院生をはじめ、人に何かを伝えたり教えたりする仕事やミュージアムの事業に関心のある学院生を対象として、令和 6 年度は講座やワークショップの運営補助業務を体験するプログラムを実施しました。キャリア学習の一環として活動の場を提供するとともに、博学連携事業の充実を図っています。

参加者 7 名

V その他の事業等

1 来館者数達成記念事業

(1) 来館者 7 万人達成イベント

- 1 | 開催日 令和 6 年 10 月 5 日 (土曜日)
- 2 | フォトセッション 来館 7 万人目となった来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。
- 3 | 記念品配布 達成者及び前後の来館者に記念品を配布しました。

(2) 来館者 8 万人達成イベント

- 1 | 開催日 令和 7 年 2 月 24 日 (祝日/月曜日)
- 2 | フォトセッション 来館 8 万人目となった来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。
- 3 | 記念品配布 達成者及び前後の来館者に記念品を配布しました。

2 開館 4 周年記念事業

- (1) 講演会 令和 6 年 10 月 12 日 (土曜日) には渡邊義浩氏 (本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学常任理事) を講師に迎え、「渋沢栄一と読む『論語』」と題した講演会を、10 月 19 日 (土曜日) には秋山寛行 (当館学芸員) が『「休泊控帳」から見た田村本陣』と題した講演会を開催しました。
- (2) 本庄市民俗芸能上演会 令和 6 年 10 月 19 日 (土曜日) に「西小平の万作」を上演しました。
- (3) ミュージアムライブ 令和 6 年 10 月 19 日 (土曜日) に早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会によるミュージアムライブを開催しました。
- (4) 記念品配布 開館記念日が休館日のため、その直前の令和 6 年 10 月 12 日 (土曜日)・13 日 (日曜日)・14 日 (祝日/月曜日) の 3 日間、来館者に 4 周年記念ロゴ入りボールペンを配布しました。

- (5) 特別開館 令和6年10月19日(土曜日)の開館時間を午後5時まで延長しました。

3 特別開館・臨時休館

(1) 特別開館

次の4日間に特別開館を行いました。

令和6年5月20日(土曜日) 午後5時まで開館

(ミュージアムコンサート開催に伴う開館)

令和6年7月6日(土曜日)・12月7日(土曜日) 午後8時まで開館

(ナイトミュージアム開催に伴う開館)

令和6年10月19日(土曜日) 午後5時まで開館

(ミュージアムライブ開催に伴う開館)

(2) 臨時休館

施設メンテナンスによる停電及び断水発生のため次の1日間を臨時休館としました。

令和6年7月21日(日曜日)

4 博物館実習

本庄市教育委員会事務局文化財保護課が実施する博物館実習について、令和6年8月1日(木曜日)から9日(金曜日)のうち7日間を実習期間として募集を行いました。希望者はいませんでした。

5 他団体主催イベントへの参加

(1) 令和6年度彩の国 東・北部ミュージアムスタンプラリー

1 | 趣旨

埼玉県博物館連絡協議会東・北部地域連絡協議会加盟館園(以下、「加盟館園」とする)相互の連携を通じて利用促進を図り、生涯学習の場として、広く地域住民の理解を得ることを目的としています。またスタンプラリー参加者が複数の加盟館園に来館する契機とし、様々な展示テーマを有する加盟館園の存在を再発見させ、郷土学習のきっかけを作ることを目的とします。

2 | 内容

スタンプラリーの台紙を各館園(24館)の窓口等にて参加希望者に配布、各館園でスタンプを押してもらいます。3館分と6館分を集めたときに記念品を配布しました。

3 | 期間 令和6年8月1日(木曜日)～令和6年9月29日(日曜日)

4 | 対象 中学生以下

5 | 費用 参加費無料(各館園の入場料は必要)

6 | スタンプ台紙の配布数 105枚

7 | 景品引換数 3館分(シャープペンシル)31人 6館分(オリジナルトートバッグ)8人

※当館引換分のみ

VI 資料活用

1 館外特別利用

資 料 名	点数	貸出先	利用目的
盾持人物埴輪（前の山古墳出土）	1 点	東京国立博物館・九州国立博物館	令和 6 年度挂甲の武人 国宝指定 50 周年記念、九州国立博物館開館 20 周年記念 特別展「はにわ」において展示するため
松大鷹図（田村英甫筆）	1 点	美濃加茂市民ミュージアム	2024 年度早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業共催展「＜新収蔵記念＞本陣の品々」において展示するため
関札（加賀藩前田家）	1 点		
本庄宿絵図（文久元年）	1 点		
中山道絵図本庄宿（明治 27 年）	1 点		
本庄宿並助郷村々誓詞一件（天保 7 年）	1 点		
田村本陣休泊控帳（複製）	2 点		

2 特別利用

資 料 名	点数/件数	使用目的
石棒（宮内上ノ原遺跡Ⅲ出土）	1 点	調査研究のため
石製模造品（後張遺跡Ⅲ出土）	25 点	調査研究のため
勾玉（後張遺跡Ⅲ出土）	1 点	
石製模造品（後張遺跡Ⅴ出土）	29 点	
紡錘車（後張遺跡Ⅲ出土）	2 点	
勾玉（後張遺跡Ⅲ出土）	2 点	
勾玉（小島仕切沢遺跡南遺跡出土）	1 点	
石製模造品（小島仕切沢遺跡南遺跡出土）	1 点	
石製模造品（旭・小島古墳群出土）	12 点	
管玉（旭・小島古墳群出土）	1 点	
白玉（旭・小島古墳群出土）	1 点	
「和宮生母観行院よりの拝領品」		朝霞市博物館ギャラリー展示「皇女和宮下向と朝霞」開催に伴う事前調査
京人形、煙草入れ、扇子、木盃	4 点	
「観行院御下賜品目録」	1 点	
「菓子銘札」	1 点	
「和宮御下向実母観行院御賄方諸用控」	1 点	
「和宮様下向御用留」文久元年／田村家文書	1 点	
「御本陣御取立建物出来形帳」文久 2 年／田村家文書	1 点	
「和宮の宿泊記録」『田村本陣休泊控帳』文久元年 11 月 11 日	1 点	
「御当日御宿割帳」文久元年／田村家文書	1 点	
「和宮下向における助郷免除願い」文久元年／金井家文書	1 点	

VII 資料収集

1 新収蔵資料

資 料 名	点数	
旧埼玉県立児玉高等学校関係資料（アルバム・学校用具等）	一括	寄贈
諸井家関係資料	一括	寄贈
個人収集資料（蚕糸業資料）	一括	寄贈
個人資料（書籍・写真等）	一括	寄贈

VIII 情報発信・広報等

1 情報発信・広報

市広報や公式ホームページ、Instagram、本庄早稲田の杜ミュージアム NEWS を通じて、当館の展覧会やワークショップ等の開催情報をはじめ、本庄市の歴史や文化財施設に関する情報等を広く発信しています。

（1）公式ホームページ

- 1 | ページ URL <https://www.hwmm.jp/>
- 2 | 開設日 令和2年10月15日

（2）Instagram

- 1 | アカウント名 honjo_bunkazai
- 2 | ページ URL https://instagram.com/honjo_bunkazai
- 3 | 開設日 令和3年2月1日
- 4 | 投稿数 投稿 101 / ストーリーズ 46 （令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- 5 | フォロワー数 1,306 ※令和7年3月31日現在

（3）本庄早稲田の杜ミュージアム NEWS

当館で開催する企画展やワークショップ・イベント等の開催情報をお知らせする「本庄早稲田の杜ミュージアム NEWS」を発行し、館内等で配布するほか、ホームページに掲載しています。

- 1 | 発行開始 令和5年7月
- 2 | 発行号数 26号 ※令和7年3月31日現在

2 刊行物

（1）調査研究報告4

- 1 | 発行日 令和7年3月31日
- 2 | 掲載内容

〔論文〕幕末期姫君通行における本陣の準備と対応ー中山道本庄宿田村本陣の動向を事例にー／秋

山 寛行

〔研究ノート〕弓を表現する埴輪／太田 博之

〔展示報告〕企画展「中山道と本陣－本庄宿と太田宿－」をふりかえって－遠隔地博物館との連携
展示の試み－／秋山 寛行

（２）企画展パンフレット

次の企画展においてパンフレットを作成し、企画展会場にて無償配布しました。

早稲田大学展示室企画展「下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活」

早稲田大学展示室企画展「中山道と本陣－本庄宿と太田宿－」

早稲田大学展示室企画展「古代エジプトの棺と埋葬」

企画展／「埴輪－本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで－」

企画展／第５回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「古代の児玉・深谷地域」

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「縁～渋沢栄一と本庄の人々～」

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道と本陣－『休泊控帳』をひもとく－」

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「近代日本を紡いだ蚕業教育－木村九蔵と競進社－」

3 ミュージアムショップ

当館では、来館者サービスの一環としてミュージアムショップを併設し、常設展示図録をはじめ、当館のオリジナルグッズ等を販売しています。

販売実績	点数	販売額
当館オリジナルグッズ	1,026 点	171,150 円
ワークショップ用製作キット	1,118 点	221,200 円
文化財保護課刊行物	264 点	145,000 円
その他	393 点	238,640 円

IX 本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会は、本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例第14条に基づき、当館の円滑な運営を図るため、教育委員会の附属機関として設置されています。委員会は、学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者及び学識経験のある者からなる10名以内の委員によって組織され、任期は2年です。

1 運営委員会委員

（１）任期 令和4年10月15日から令和6年10月14日まで

委員名簿			※敬称略
委員長	佐々木 正峰	国立科学博物館顧問	

副委員長	近藤 二郎	早稲田大学名誉教授
委 員	芦沢 吉一	心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会会長
委 員	内田 英亮	本庄市社会教育委員
委 員	雉岡 恵一	本庄市文化財保護審議会副委員長
委 員	高月 陽子	本庄市立藤田小学校校長
委 員	高橋 義揚	本庄市PTA連合会前会長
委 員	野中 仁	埼玉県立さきたま史跡の博物館館長
委 員	堀越 恵理佳	本庄市教育委員会事務局学校教育課指導主事

※肩書は令和6年6月1日時点

(1) 任期 令和6年10月15日から令和8年10月14日まで

委員名簿		※敬称略
委 員	芦沢 吉一	心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会会長
委 員	内田 英亮	本庄市社会教育委員
委 員	川尻 秋生	早稲田大学文学学術院
委 員	雉岡 恵一	本庄市文化財保護審議会委員
委 員	佐々木 幹雄	本庄市文化財保護審議会委員
委 員	高月 陽子	本庄市立藤田小学校校長
委 員	高橋 義揚	本庄市PTA連合会前会長
委 員	長崎 潤一	早稲田大学文学学術院
委 員	野中 仁	埼玉県立さきたま史跡の博物館館長
委 員	堀越 恵理佳	本庄市教育委員会事務局学校教育課指導主事

※肩書は令和7年3月31日時点

2 運営委員会

(1) 令和6年度第1回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

1 | 開催日時 令和6年6月28日(水曜日)午後2時～午後3時

2 | 開催場所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターS401 会議室

3 | 出席者(委 員) 近藤委員・内田委員・高月委員・野中委員・堀越委員

(事務局) 下野戸教育長・笠原事務局長・小川課長・的野課長補佐・松橋係長・古澤主査

欠席者(委 員) 芦沢委員・雉岡委員・佐々木委員・高橋委員

4 | 会議内容 委嘱状交付

議事 (報告事項) 第1号 令和5年度事業報告・令和6年度事業計画

第2号 令和4年度・令和5年度自己点検評価について